

(流域の市区町村より寄せられた意見)

06. 茨城県

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
1	茨城県	1土浦市	これまでの霞ヶ浦を含む河川整備は、治水・利水を主眼に進められてきており、災害対策や水利用に大きな効果をもたらしてきた。一方、人々の環境に対する関心は高まっており、水質や自然環境、景観などへの配慮による親水性の向上も重要な課題であると考え。従って、今後の河川整備にあつては、従来の治水・利水の観点だけでなく、環境の視点も踏まえて、総合的かつ計画的に推進することを望む。加えて、水系は地域の貴重な財産であることから、情報の共有化や地域住民と一体となった施策の推進が必要であると考え。	河川整備の実施にあつては、河川のみならず、必要に応じて河川周辺的环境も把握したうえで河川整備に活かします。また、霞ヶ浦流域の歴史および文化等の地域特性も踏まえて、治水、利水、環境および利用を一体的に捉え、それぞれの目標が調和しながら達成されるよう、総合的な視点で整備します。 適正な河川整備を行うために、情報発信等を行い市民と連携した整備を展開するほか、霞ヶ浦の河川情報については、わかりやすい情報提供に努めます。 さらに、霞ヶ浦では、多くの市民団体等が多種多様な目的をもって活動しています。河川清掃等の維持管理にあつては、環境・福祉等の様々な分野のNPO団体等と連携し、より細やかな維持管理を図ります。また、地域住民や利用者等の意見を幅広く聞くため、霞ヶ浦意見交換会および霞ヶ浦ふれあい巡視を継続的に開催します。
2	茨城県	1土浦市	河川整備の主題は治水であることから、詳細なデータによる検証・検討により、地域住民の安心・安全が確保できる治水対策を切望する。また、土浦市は霞ヶ浦流入河川の最下流部に位置するため、上流域の流水の影響が集約されることから、最下流域の河川整備については十分な配慮をお願いしたい。	基本理念「安らかさと豊かさを実感できる霞ヶ浦」を掲げ、流域全体としてこれを共有し、流域の多様な主体との幅広い連携を講じながら、行動します。 霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。 波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。 流入する支川の排水対策として、浸水被害の状況、土地利用の状況および支川の整備状況を考慮し、必要に応じて対策を実施します。 なお、流入河川については茨城県の管理であり、茨城県にも、この件について伝えます。
3	茨城県	1土浦市	水は生活・産業を支える貴重な資源であり、正に生命の源である。そのため、住民の生活や産業の振興に影響を及ぼさないような利水対策を望む。	常陸川水門により塩害の防除を図るとともに、既設の霞ヶ浦開発施設および実施中の霞ヶ浦導水により、利水の安定化を図ります。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
4	茨城県	1土浦市	霞ヶ浦は、豊かな自然もさることながら、上水道の水源でもあり、水質浄化は全ての人々が切望するところであることから、今後の河川 整備については、環境の要因も十分考慮され進められたい。特に湖岸域整備については、植生帯再生や砂浜整備等の方策をさらに推進していただきたい。中でも、砂浜整備に関しては、親水性の向上や環境学習の場の提供などとして大きな効果が期待できることから、積極的な取組みをお願いしたい。	<p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p> <p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。</p> <p>整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p> <p>さらに、人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p>
5	茨城県	1土浦市	霞ヶ浦を含む河川のごみについては、市としても課題となっている。台風や大雨の後に大量に流れる枯枝・枯草や一般的なごみは、河川景観だけでなく、水質汚濁の要因のひとつともなっている。また、土浦市は河川最下流であるため、上流からごみ等が集積してしまう場所となってしまう。従って、河川に流れるごみ、あるいは河川底や湖底に沈んでいるごみの対策について、市町村とも連携し、積極的な対応をお願いしたい。	<p>河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。</p>
6	茨城県	1土浦市	霞ヶ浦を含む河川は、地域の財産であり万人のものであると認識することから、住民、事業者、行政といったあらゆる主体が連携し、各々の役割分担により協働での取組みが必要である。その取組みを効果的・効率的に進めるには、連携・協働の理念を具現化する体制づくりが不可欠であると考えます。	<p>基本理念「安らかさと豊かさを実感できる霞ヶ浦」を掲げ、流域全体としてこれを共有し、流域の多様な主体との幅広い連携を講じながら、行動します。</p> <p>霞ヶ浦では、多くの市民団体等が多種多様な目的をもって活動しています。河川清掃等の維持管理にあっては、環境・福祉等の様々な分野のNPO団体等と連携し、より細やかな維持管理を図ります。また、地域住民や利用者等の意見を幅広く聞くため、霞ヶ浦意見交換会および霞ヶ浦ふれあい巡視を継続的に開催します。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
7	茨城県	1土浦市	30年後のビジョンを示し、それに向けての指針を明らかにするとともに、安心・安全で美しく楽しい河川環境を後の世代に引き継ぐことが今を生きる我々の責務であると考えます。	<p>私たちが将来にわたって霞ヶ浦と持続的に関わっていくためには、私たちの営みと霞ヶ浦との調和が欠かせません。霞ヶ浦の豊かな恵みとともに安らかな生活を享受し、また、これからも営々と霞ヶ浦と共生していくためには、霞ヶ浦の魅力を再生することが必要です。</p> <p>ここに基本理念「安らかさと豊かさを実感できる霞ヶ浦」を掲げ、流域全体としてこれを共有し、流域の多様な主体との幅広い連携を講じながら、行動します。</p> <p>基本理念に基づき、次の3つの視点によるあるべき姿を霞ヶ浦河川整備計画の柱とします。</p> <p>●安らかな湖 ●清らかな湖 ●豊かな湖</p>
8	茨城県	2古河市	<p>利根川水系河川整備計画策定に係る意見について次のとおり、河川整備について意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 古河市は、利根川と渡良瀬川の合流点に位置し、洪水時の水位は、市街よりも高く、地域のまちづくりと一体となったスーパー堤防事業を推進していただきたい。</p>	<p>高規格堤防(スーパー堤防)は、堤防が万が一決壊した場合、非常に甚大な被害が予想される区間を対象としており、利根川水系においては、利根川本川(小山川合流点から利根川河口まで)と江戸川本川(利根川分派から江戸川河口まで)を対象としています。</p> <p>堤防を超えるような洪水が来ても堤防が決壊しないような構造とし、后背地を広くならかな構造とする特徴があります。また、浸透してもこわれにくい、地震に対して強い特徴があります。</p> <p>これらの高規格堤防整備は、まちづくりなどの整備と連携して実施します。まちづくりには、複数の関係者との調整が必要なため河川管理者としては、一体的な整備が図れるように沿川自治体などと積極的に調整を行います。</p>
9	茨城県	2古河市	2. 市内を流れる一級河川女沼川、向堀川では、毎年のように浸水被害が発生し、茨城県の河川改修が進められているので、利根川への合流部対策としての新樋管及び排水機場整備についても実施していただきたい。	<p>浸水被害の状況、土地利用の状況及び支川の整備状況等を総合的に検討し、地元自治体と調整を図り、必要に応じて、水門・樋門等の整備・改築及び排水機場の機能向上を実施します。</p>
10	茨城県	2古河市	3. 利根川・渡良瀬川の堤防上は市民の散策の場として利用されており、今後は、河川敷を市民の憩いの場とするため、親水公園等の整備について検討していただきたい。	<p>生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた利根川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣りやスポーツなどの河川利用、環境学習の場などの整備、保全を図ります。</p> <p>具体的には、環境学習や自然体験の場となる「水辺の楽校」、歴史や文化を踏まえた地域の交流拠点となる「水辺プラザ」などの整備を推進します。</p> <p>また、高齢者をはじめとして誰もが安心して親しめるようユニバーサルデザインに配慮するとともに、沿川の自治体が立案する地域計画などとの連携・調整を図り、河川利用に関する多様なニーズを十分反映した河川整備を推進します。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
11	茨城県	2古河市	4. 地域の幹線道路等の整備をスーパー堤防、堤防強化等の事業と連携しながら進められるように位置づけていただきたい。	<p>高規格堤防(スーパー堤防)は、堤防が万が一決壊した場合、非常に甚大な被害が予想される区間を対象としており、利根川水系においては、利根川本川(小山川合流点から利根川河口まで)と江戸川本川(利根川分派から江戸川河口まで)を対象としています。</p> <p>堤防を超えるような洪水が来ても堤防が決壊しないような構造とし、後背地を広くならかな構造とする特徴があります。また、浸透してもこわれぬ、地震に対して強い特徴があります。</p> <p>これらの高規格堤防整備は、まちづくりなどの整備と連携して実施します。まちづくりには、複数の関係者との調整が必要なため河川管理者としては、一体的な整備が図れるように沿川自治体などと積極的に調整を行います。</p>
12	茨城県	3石岡市	霞ヶ浦の治水、利水、環境等については、国・県・市町村が、共通の目標に向かって、共に取り組んで行くことが最も重要であると考えます。さらに、水質浄化など環境問題については、流域住民の理解が欠かせないものであり、問題意識を、より多くの住民に共有していただくことが大切です。さて、今回の霞ヶ浦河川整備計画『湖岸帯の場の保全・再生』として、養浜事業があげられています。こうした施設は、湖岸植生の保全・再生と共に多様な生態系の創出に役立つものですが、同時に、霞ヶ浦に親しめる大切な施設であると思います。そこで、施設を整備した後に、様々な人びとにご覧頂き、生態系への関心を喚起し、理解を深めることにより、大切な霞ヶ浦の水質を保全しよう、との機運を、なお一層高めることが肝要であり、そのためには、国・県・市町村それぞれが、適切な役割分担の下、環境学習などの事業を積極的に行うことを提案いたします。すなわち、ハード整備に連動したソフト事業の展開であり、ソフト事業を想定した整備事業を進めることも必要と存じますので、併せて提案いたします。	<p>私たちが将来にわたって霞ヶ浦と持続的に関わっていくためには、私たちの営みと霞ヶ浦との調和が欠かせません。霞ヶ浦の豊かな恵みとともに安らかな生活を享受し、また、これからも営々と霞ヶ浦と共生していくためには、霞ヶ浦の魅力を再生することが必要です。</p> <p>ここに基本理念「安らかさと豊かさを実感できる霞ヶ浦」を掲げ、流域全体としてこれを共有し、流域の多様な主体との幅広い連携を講じながら、行動します。</p> <p>基本理念に基づき、次の3つの視点によるあるべき姿を霞ヶ浦河川整備計画の柱とします。</p> <p>●安らかな湖 ●清らかな湖 ●豊かな湖</p> <p>特に、水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。また、水質への地域住民の関心を高めるため、分かりやすい指標を用いた水質調査および水生生物を指標とした水質調査を、子どもたちの環境学習の一環として、学校等と連携して実施します。</p> <p>また、人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p> <p>このような施設整備とともに、学校、市民団体、関係機関等と連携し、水辺の楽校を整備するなど、河川を活用した環境教育の支援を行います。</p> <p>また、河川環境教育における指導者、団体間の連携および次世代の人材育成に関係機関等と連携して取り組みます。</p>
13	茨城県	4結城市	<利根川水系全体に関する意見> 一昨年の夏に県立下館工業高校の生徒が、鬼怒川で2名(結城市在住1名、下妻市在住1名)溺死するという痛ましい事故がありました。尊い命が河川によって奪われたことには、親族・関係者の心痛は計り知れないものがあると思われまます。河川の整備については、その地域の利用頻度などいろいろな要因が考えられますが、安心安全な河川環境の整備に取り組んでいただければ幸いです。	<p>毎年、河川管理者は、利用者の増加する時期(ゴールデンウィーク前、夏休み前等)を目処に、河川の利用者が安心して河川を利用していただくという観点から、「河川(水面を含む)における安全利用点検に関する実施要領」に基づき、各河川ごとに安全点検を実施しています。この安全利用点検の結果、対象区域・施設に利用者に対する重大な危険又は、支障があると認めた場合には、応急措置等を講じます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
14	茨城県	4結城市	結城市では、河川敷を利用した運動公園が2ヶ所(久保田と才光寺県民運動公園)あり、この運動公園は地域住民のスポーツレクリエーションを楽しむため、約20年位前に整備されました。しかし、毎年の集中豪雨や台風の時期になりますと、施設全体が水没し、利用できない状況となりますので、その辺の対策が講じられますようお願いいたします。	河川は、洪水等による自然現象や流域の変化などにより、その様子が大きく変わって行きます。 このような自然現象に対応し、安全に洪水を流下させるために必要な流下断面の一部として確保されているのがグランド等のある高水敷です。高水敷は、このような役割を持っているため増水時に水没してしまいます。 当該区間についても洪水の安全な流下に対して必要な区域であるのでご理解下さい。
15	茨城県	4結城市	結城市においては、農業用水の吉田用水機場が河岸にあります。水田を潤す水量の確保に今後とも努めていただきたい。	鬼怒川においては、既設の五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、鬼怒川上流ダム群連携施設及び建設中の湯西川ダムにより、佐貫地点において、かんがい期及び非かんがい期の目標流量を定め、これらのダム運用により目標流量を確保します。また、水資源の開発及び利用にあたっては、流域で健全な水循環を重視しつつ、地域づくりと一体となった河川環境等の保全に努めます。
16	茨城県	4結城市	鬼怒川堤防敷の草刈などを行い、自然環境にご配慮いただきまして感謝申し上げます。今後とも引き続き対応いただけますようお願い申し上げます。	河川堤防の除草については、堤防の保護、異常の早期発見、河川景観の向上、ゴミの不法投棄の抑止等を目的として、定期的を実施しています。
17	茨城県	4結城市	鬼怒川と田川の合流地点では堤防もなく、集中豪雨や台風の時期ともなると水位が上昇して危険な状況になると思われますので、ご検討のうえ改修いただけますようお願いいたします。その他の堤防につきましては、水位が上昇してもある程度の余裕があると思われます。	鬼怒川では堤防の高さ、巾が不足している箇所があり、特に下流部に集中しています。下流部は上流部に比べ川幅が狭いことや利根川本川の水位の影響を受け、洪水の継続時間が長くなる特徴があります。このため築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を必要な箇所から実施していきます。 ご意見を頂きました鬼怒川と田川の合流点ですが、現在、無堤部となっており、久保田地区の地盤高は洪水を安全に流すための計画高水位よりも低い箇所が存在しますので、築堤等の対策により浸水被害の解消を図ります。なお、実施にあたっては田川の河川管理者である茨城県と十分な調整を図りながら進めていきます。
18	茨城県	4結城市	毎年7月に実施している鬼怒川・小貝川クリーン作戦を利用して、河川沿川の河川愛護者、河川施設利用者及び地域住民の理解をいただきながら、なお一層強力に取り組み、官民一体となって河川の協働のまちづくりを進めていただきたい。	ボランティア等の地域づくりの活動との連携・支援を積極的に推進し、地域住民や関係機関など一体となった協働作業による河川整備を推進します。 なお、官民一体となった川づくりのためには、地元市町村の多大なるご協力が不可欠ですので今後ともご協力をよろしくお願い致します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
19	茨城県	4結城市	結城市においては、財政事情が非常に厳しいため、施設などの整備計画ができない状況にありますので、当市に見合った施設の検討及び設置について、特段のご配慮をお願いいたします。	河川整備に当たっては、治水・利水・環境との調和を図りつつ、多くの方々が安全に水辺に親しんでいただけるよう進めていきます。 整備にあたっては、地域のニーズや自治体の計画をふまえ、自治体と十分連携し、ユニバーサルデザインにも配慮します。
20	茨城県	5竜ヶ崎市	安心、安全は、市民共通の願いでもあるため河川整備に関しては、治水の観点に十分配慮した計画の立案を望む。 またあわせて、21世紀は環境の世紀と呼ばれる時代であり、持続可能な循環型社会を形成するためにも、自然環境の保全の観点で取り組んでいただく、そのような配慮のある計画の立案をお願いしたい。	霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水（概ね30年に一度発生する規模の洪水）のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。 波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。 また、整備途上において、施設能力を超える自然の外力が発生した場合でも壊滅的な被害とならないように、河川管理施設の適正な維持管理、操作を行い、治水機能を最大限に発揮させるとともに、関係行政機関と連携して警戒避難体制等を強化します。 河川整備の実施にあたっては、河川のみならず、必要に応じて河川周辺的环境も把握したうえで河川整備に活かします。 また、霞ヶ浦流域の歴史および文化等の地域特性も踏まえて、治水、利水、環境および利用を一体的に捉え、それぞれの目標が調和しながら達成されるよう、総合的な視点で整備します。
21	茨城県	6下妻市	河川整備が進むにつれて、洪水の発生は低くなっていますが、その一方で内水対策に対する要望が高まってきていますので、内水排除を可能とする対策に取り組んでいただきたい。	近年の集中豪雨や都市部を中心として宅地化等にともない、短時間に計画以上の大量の雨が流出し、下水道や河川に排水できないことによる湧水被害が起きやすくなっています。浸水被害の状況、土地利用の状況及び支川の整備状況等を総合的に検討し、関係自治体と調整を図り、必要に応じて水門・樋門等の整備・改築及び排水機場の機能向上を実施します。
22	茨城県	6下妻市	○前河原地先 左岸 北台川水門から下流の無堤部築堤要望	鬼怒川では堤防の高さ、巾が不足している箇所があり、特に下流部に集中しています。下流部は上流部に比べ川幅が狭いことや利根川本川の水位の影響を受け、洪水の継続時間が長くなる特徴があります。このため築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を必要な箇所から実施していきます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
23	茨城県	6下妻市	○中居指地先 左岸 鬼怒川橋から下流の無堤部築堤要望	鬼怒川では堤防の高さ、巾が不足している箇所があり、特に下流部に集中しています。下流部は上流部に比べ川幅が狭いことや利根川本川の水位の影響を受け、洪水の継続時間が長くなる特徴があります。このため築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を必要な箇所から実施していきます。
24	茨城県	6下妻市	○鎌庭地先 左岸 大形橋上流部への防災ステーション整備要望	防災ステーションの整備に関しては、自治体等による防災センターの整備が必要であるため、整備に向けて連携を図りつつ検討を進めていきます。
25	茨城県	6下妻市	○長塚地先 「ピアスパークしもつま」付近の河川環境整備要望	誰もが安心して川とふれあえる場として、水辺の拠点整備や水辺の楽校等の整備、歴史や文化を踏まえた地域の交流拠点としての整備等を行います。また、川と地域社会の関係の再構築を図るため、川と地域の拠点を結ぶネットワーク化に努めるとともに、河川空間における利用者の利便性の向上や快適な利用のため、施設整備に取り組めます。 整備にあたっては治水と利水、環境及び利用を一体的にとらえ、それぞれ目標の調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、取り組んでいきます。 実施に当たっては、自治体等との連携・協力が不可欠であるため、今後ともご協力のほどお願いします。
26	茨城県	6下妻市	○「川をきれいにする、ゴミを捨てない」等の啓発活動強化及びゴミの捨てにくい環境整備の促進	河川に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理等の活用を自治体と連携し促進します。 また、ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行っていきます。 ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、鬼怒川・小貝川流域の自治体、県、国土交通省で組織する鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを実施していますが、不法投棄がなくなるのが現状です。今後もこれらの活動を継続実施するとともに関係自治体とも連携し、より一層の不法投棄防止対策を推進していきます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
27	茨城県	6下妻市	○排水樋管の改善や連絡体系の強化	<p>水門・樋門や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト縮減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋門等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。許可工作物については、施設管理者に対して適切な指導を行い、河川管理上支障とならないようにします。</p> <p>光ファイバー網等のIT機器の有効利用図り、災害時における河川情報の監視や防災情報の迅速・的確な提供、共有化を図ります。</p>
28	茨城県	6下妻市	○河川の維持管理には地域住民との協働が重要であり、積極的な働きかけが必要である。	<p>地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を県、市町と連携して支援し、河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理等の活用を県、市町と連携し促進します。</p> <p>官民一体となった川づくりのためには、地元市町村の多大なるご協力が不可欠です。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。</p>
29	茨城県	6下妻市	○古沢～柳原地先 系繰川排水機場から下流部右岸の堤防高点検及び堤防拡幅要望	<p>小貝川では昭和61年の大水害の後に堤防の拡築及び遊水池の整備を進め、更に、平成11年7月洪水の後に上流部の無堤部の堤防整備を行ってまいりましたが、毎年、危険水位に迫る出水が発生しています。</p> <p>小貝川の河川整備計画は、概ね30年に1回の確率で発生する規模の洪水を堤防の整備、河道掘削、新規の遊水池等により効率的に対処していきます。実施に当たっては、対策の安全性、確実性はもとより、経済性、効率性、環境の保全に十分配慮していきます。</p> <p>ご意見を頂きました古沢地先～柳原地先ですが、現況の堤防の高さは計画の高さが確保されておりますが、一部断面が不足している区間がありますので、堤防拡築により断面の確保を図ります。また、河道内にある樹木についても洪水の安全な流下、適正な河川管理のため、必要に応じて伐採等を行ってまいります。伐採した樹木に関しても有効利用について検討を行ってまいります。</p> <p>整備に当たっては、河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施していきます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
30	茨城県	6下妻市	○河道内の治水上支障となる立木伐採等の整備促進	<p>河川は洪水等による自然現象や流域の変化などにより、その様子が大きく変わります。このため、自然災害から生活を守り川から受ける恵みを維持し自然環境や潤い空間の保全を図るため、常に川の状態を把握し、評価を行い、補修や改修を実施しています。洪水の流下に対し、能力が不足している区間・箇所においては、自然環境に配慮しながら川底を掘削したり、樹木の伐採などにより適切な対策を行ってまいります。掘削した土砂においても堤防の補強等に利用するなど、有効活用を図るほか、伐採した樹木に関しても有効利用について検討を行ってまいります。</p> <p>河川内の樹木については、洪水の流下に対する支障、河川巡視上の支障、ゴミの不法投棄の温床、堤防等に対する悪影響、河川環境の悪化(ホームレス)等さまざまな河川管理上の支障があります。</p> <p>これらの支障要因について検討を行い、動植物の生息環境及び景観等の水辺環境に配慮しながら、必要に応じて樹木の伐採等の適切な対策を講じてまいります。</p>
31	茨城県	6下妻市	○小貝川ふれあい公園内 浸食箇所の親水護岸整備要望	<p>局所的な侵食・深掘れ等によって対策を必要とする区間において、護岸、水制等の対策を河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施してまいります。</p> <p>実施にあたっては、周辺環境や利用状況にも十分に配慮し実施します。</p>
32	茨城県	6下妻市	○「川をきれいにする、ゴミを捨てない」等の啓発活動強化及びゴミの捨てにくい環境整備の促進	<p>河川に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理等の活用を自治体と連携し促進します。</p> <p>また、ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行ってまいります。</p> <p>ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、鬼怒川・小貝川流域の自治体、県、国土交通省で組織する鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを実施していますが、不法投棄がなくなるのが現状です。今後もこれらの活動を継続実施するとともに関係自治体とも連携し、より一層の不法投棄防止対策を推進してまいります。</p>
33	茨城県	6下妻市	河川整備が進むにつれて、洪水の発生は低くなっていますが、その一方で内水対策に対する要望が高まってきていますので、内水排除を可能とする対策に取り組んでいただきたい。	<p>流入する支川の排水対策として、浸水被害の状況、土地利用の状況および支川の整備状況を考慮し、必要に応じて対策を実施します。</p> <p>なお、流入河川については茨城県の管理であり、茨城県にも、この件について伝えます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
34	茨城県	6下妻市	(霞ヶ浦)水質向上に向け今後も積極的に浄化していただきたい。	水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。 具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。
35	茨城県	7常総市	鬼怒川の治水に関する意見について。常総市を貫流する下流部は23.5キロメートルあり、堤防の計画断面を満足していない区間や無堤防が数箇所存在しております。無堤防の築堤・堤防の嵩上げ・堤防の拡幅が市民が望む最大の課題であります。また老朽樋管が多数あり周辺住民は洪水時の心配をしておりますので改築または補修の計画的な推進をお願いするものです。 平成14年の台風による洪水から市民の不安は増大しておりますので、上記の意見について河川整備計画に目標を掲げて、整備していただきたいと思っております。	鬼怒川河川整備計画では概ね30年に1回程度発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標としており、流下能力が不足している区間については、河道の流下能力向上対策として、築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施していきます。 水門・樋門や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト縮減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋門等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。
36	茨城県	7常総市	鬼怒川の利水に関する意見について。常総市は農業の盛んな地方であり特に水利用については市民の関心あるところです。土地改良区などの意見としては揚水機場付近の河床低下や川の流れの変化などが極端なために取水不良となって苦慮しているとの報告を多数受けております。この点につきまして農業用水の立場から河床低下の整備対策をお願いします。	鬼怒川下流河道区間では河床の低下にともない、農業用水の取水へ支障をきたすばかりでなく、護岸や橋脚等構造物周辺の洗掘が進み構造物の基礎部分の安定が損なわれ構造物の破壊にもつながるおそれがあるため、河床の安定化を図るために設置された床止の機能を維持するために適切に監視、補修を行うとともに、必要に応じて床止の設置を行います。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
37	茨城県	7常総市	<p>河川環境についての意見。従来から治水・利水は重点的に行われておりましたが、近年は河川沿川住民の川の自然に対するふれあいの意識が高まってきました。常総市の鬼怒川沿いには10箇所ほどの河川空間があります。代表されるものは鬼怒川左岸24キロメートル付近の十一面山という箇所があります。現在、地元住民の様々な活動により平地林の保全に力を入れているところですが、この付近は無堤防地帯でありまして、地元では保全か築堤かの議論が高まっておるところです。市といたしましては当然築堤の方向で進めておりますが今後は河川の環境整備と治水の両面から整備することをお願いします。</p> <p>河川の利用実態を把握していただき河川空間の整備をぜひ河川整備計画に織り込むことを念願するものです。</p>	<p>ご意見のありました十一面山がある若宮戸地区は、かつて不法投棄が後を絶たない状況でしたが、地域の方々の活動により、現在良好な自然環境が維持されていると認識しています。当該地区は、一部無堤防部もありますが、現況の堤防では、堤防の高さおよび幅が満足しておらず、堤防の嵩上げや拡築が必要です。対策の実施に当たりましては、自治体や地域の方々のご意見を伺い、周辺環境と調和した整備を実施していきます。</p> <p>誰もが安心して川とふれあえる場として、水辺の拠点整備や水辺の楽校等の整備、歴史や文化を踏まえた地域の交流拠点としての整備等を行います。また、川と地域社会の関係の再構築を図るため、川と地域の拠点を結ぶネットワーク化に努めるとともに、河川空間における利用者の利便性の向上や快適な利用のため、施設整備に取り組みます。</p> <p>整備にあたっては治水と利水、環境及び利用を一体的にとらえ、それぞれ目標の調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、取り組んでいきます。</p> <p>また、実施に当たっては、自治体等との連携・協力が不可欠であるため、今後ともご協力のほどお願いします。</p>
38	茨城県	7常総市	<p>小貝川に関する意見。鬼怒川の整備の要望と基本的に同様。特に昭和61年の常総市本豊田の洪水は市民の忘れがたい災害でありました。その後、各緊急対策事業によって、数々の強化策が実施されましたが、下流部においては、いまだ、堤防の浸透に対する安全性の低い区間が存在しています。堤防の更なる強化を要望します。</p>	<p>現在の堤防は過去から拡築、補修の繰り返しにより築かれてきたため、材料の品質が均一であるとは限らないため、場所によっては、浸透に対する安全性が低い区間が存在しています。堤防の浸透に対する点検は、平成19年3月末で完了しました。結果については、記者発表を行ったほか下館河川事務所のホームページにて公表掲載しています。また、点検結果に基づく対策の必要な区間については、河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施していきます。</p>
39	茨城県	7常総市	<p>土地改良区からの意見。田植え期間は農業用水の最需要期である。各土地改良は用水の確保に苦慮している状況にある。福岡堰は、企業局が里子で放流する水量を頭首工上流で取水されてるが、この間の小貝川に杭、シート等を利用して取水する改良区がある。自然に取水するのが基本で、本川中の障害物は下流における利用者にとっては障害であり河川管理上の問題がある。</p>	<p>許可以外の行為があれば、河川管理者として厳正に対処します。</p> <p>また、毎年灌漑期前に行われる小貝川水利調整連絡会等において水の適正な利用について調整を行います。</p>
40	茨城県	7常総市	<p>土地改良区からの意見。最近小貝川の水質が低下していると思われる現象があり、取水している農業用水路壁に藻が張り付き流水に支障をきたす状況である。霞ヶ浦用水を放流以前とその後の水質の変化がどうか。また、上流部の広域的下水道施設の放流などの関係について調査検討が必要。</p>	<p>河川の汚濁対策につきましては、下水道事業等の関係機関と連携し流入する汚濁負荷量の削減に流域が一体となって努めるとともに、関係機関が、役割に応じた水質改善対策を実施していくことが必要です。なお、河川の水質の現況把握については、継続的に実施し、水質の変化について監視していきます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
41	茨城県	8取手市	この度の計画については昭和39年以来の整備計画の見直しということで、大いに期待しているところであります。昭和39年の計画では田んぼの調整池化が主な内容になっていたと思いますが、今回の整備計画見直しでは、近年、農業事情の変化から洪水時、都市化の進展等も含め、全国的に水害も多発しているという昨今の現状にある中で、国においても治水を第一に考えているものと思います。これは、我々も同感です。特に河川区域においては、生命財産を守るべく治水を第一に考え、それを充実させてこそ環境への配慮が講じられるべき性格を有する区域であると思います。	利根川及び江戸川の河川整備計画は、概ね50年(支川は概ね30年)に1回の確率で発生する規模の洪水を既設のダム及び建設中のダム等及び調節池、河川改修等整備することにより、洪水を調節し、安全に流下させる計画です。これらの整備にあたっては、上流の河道整備により、下流区間での洪水被害の危険性が增大したり、支川の河道整備により、本川の洪水被害の危険性が增大したりしないように全体のバランスを図りつつ行います。河川整備計画の目標流量を安全に流下させることができない区間においては、河道の流下能力向上対策として、河道掘削、築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を順次実施します。河道掘削を行うにあたっては、生態系の保全に努めると共に、掘削により影響を受ける区間については、モニタリング調査を実施し、学識経験者等の意見を聴きながら、影響を極力少なくするための検討を行い、必要な保全措置、代替措置等の対策を実施します。
42	茨城県	8取手市	取手市には、利根川と小貝川が流れており、両河川の合流点もございます。例えば、小貝川の上流中流地点で水位が上がっても利根川へ流れて行かないという状況が度々起こります。この現象は、洪水時には両河川とも水位が上がり、小貝川の方の流れが弱いために利根川から逆流が起こるもので、小貝川の水位が下がらず堤防などにも大きな負担が掛かっているものと思います。そこで、利根川のハツ場ダム、湯西ダムの建設については中々進んでいない状況にありますが、これについて下流域としましてはダムの建設を早急に行っていたいただきたい。特にハツ場ダムなどは裁判などにもなっておるようですが、是非、治水について下流域が安全なように対策を講じていただきたいと思っております。さらに、近年の降雨の状況は、ご承知のとおりいつ洪水の被害に遭うかわかりません。ここでもう一度治水に力を入れていただき、川の浚渫、堤防強化、稲戸井調整池計画、印旛沼導水路計画などの事業も併せて早急に進めていただきたい。	利根川及び江戸川の河川整備計画は、概ね50年(支川は概ね30年)に1回の確率で発生する規模の洪水を既設のダム及び建設中のダム等及び調節池、河川改修等整備することにより、洪水を調節し、安全に流下させる計画です。これらの整備にあたっては、上流の河道整備により、下流区間での洪水被害の危険性が增大したり、支川の河道整備により、本川の洪水被害の危険性が增大したりしないように全体のバランスを図りつつ行います。
43	茨城県	8取手市	河川環境につきましては、市も常々市民と対話を行っております。市民に対して「河川というものはいったい誰のものなのですか。これは市民のものでしょうか。そこを自分たちが綺麗にしなくては誰が綺麗にするんですか。」ということで理解していただいております。そのような河川美化活動により、取手市内の利根川、小貝川両河川敷にはゴミがない状況となっております。取手市では今から7、8年前、市民の理解のもと河川環境保全のために10億円を投じて河川敷23haを買収しました。環境整備については是非、平成4年に作った利根川水系環境整備計画、これに基づいてやっていただければと思っております。	利根川及び江戸川の広大な河川敷は、ゴミなどの不法投棄の対象となりやすく、近年、河川への不法投棄が見られ、行為者・所有者が判明しないものは河川管理者が撤去せざるを得ないケースが生じています。このため、現在、不法投棄の著しい区間は巡視の強化を行っています。河川に投棄されるゴミなどを減らすため、地域住民などの参加による河川の美化・清掃活動などを自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民などがボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理などの活用を自治体と連携し促進します。また、環境整備については、自然との調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、関係自治体と連携し整備します。また、ユニバーサルデザインに配慮し、川と地域を結ぶネットワーク化や安全で秩序ある水面利用の推進等親しみやすい河川空間の整備を実施します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
44	茨城県	8取手市	次に水環境について、河川環境に関心を持つ市民を伴い上流のみなかみ町など水源地に樹木の植栽などに訪れた際などに良く感じるのですが、上流の水はどうなっているのか、増水した後、最下流の銚子にどれだけゴミが堆積しているのか、これも地域連携の中で多くの住民に見ていただくことも必要だと思っています。	利根川及び江戸川等を良好な状態で維持管理していくためには、河川のみならず、源流から河口までの流域全体及び海域を視野に入れた総合的な流域のマネジメントが必要です。したがって、河川における水量、水質、土砂及び動植物、ゴミ等の調査はもとより、巡視などにより広く流域の状態の把握に努め、地域に広報していきます。また、上下流の交流などの取組にも努めます。
45	茨城県	8取手市	最後になりますが、整備計画の中で堤防の拡幅などがあります。拡幅する際、街、集落の近くの築堤に当たって、是非、考慮していただきたいことがあります。堤防決壊など水害があった時、堤防上は消防車や国土交通省の車が通ったり作業したりします。その時、周辺住民が避難するスペースがない場合がありますから、このスペースを広く確保して住民が避難できるようにしていただきたいと思えます。	住民の避難については、洪水予報の確実な実施や災害情報の共有を行うと共に洪水ハザードマップ作成、広報等の支援により、住民が安全に避難できるように協力していきたいと考えています。
46	茨城県	9牛久市	最近、異常な数の台風や予測できないような強雨、長雨等が発生するなど地球温暖化による異常気象が深刻な問題となっております。このような状況の中、河川の氾濫等によって起こる家屋の浸水や農作物への影響などは市民の生活に大きな打撃を与えます。牛久市におきましては小貝川の支流となります牛久沼、谷田川、稲荷川などがあり、雨水排水の流末となっておりますが、今日では河川の洪水による被害はありません。今後、異常気象の中で予測できない雨量あるいは風量は当然起こるものと思われまので、長期的な視野に立った今回の計画の中で市民の生命及び財産を守っていけるような計画をお願いしたいと思えます。	利根川水系河川整備計画は、現在の社会経済情勢、自然環境及び河道状況に基づき作成するものであり、計画の対象期間は概ね30年間です。河川整備にあたっては、流域全体の調和をめざし、「安全で潤いがあり、川に学び、川と遊び、水と自然が豊かな利根川流域」を形成し、総合的・一体的に河川整備に取り組みます。また、地球温暖化等による降水量の変動や海面上昇等、今後の洪水や水利用に大きな影響を及ぼす恐れがある現象については、その動向の調査・研究を進めていきます。
47	茨城県	9牛久市	最近、地球温暖化ということで国連などでも地球規模での危機が叫ばれており、日本でも昨年においては平均3個とされている台風の数10個という異常な量が上陸しております。台風以外にもこの温暖化に伴って予測できないような強雨、長雨等が発生すると思われ異常気象については深刻な問題となっております。このような状況の中、水害として河川に与える影響は大きく、洪水等によって起こる家屋の浸水や農作物への影響など市民の生活に大きな打撃を与えます。今後、異常気象の中で予測できない雨量あるいは風量は当然起こるものと思われるので、長期的な視野に立った今回の計画の中で市民の生命及び財産を守っていける治水対策をお願いしたいと思えます。	利根川水系河川整備計画は、現在の社会経済情勢、自然環境及び河道状況に基づき作成するものであり、計画の対象期間は概ね30年間です。河川整備にあたっては、流域全体の調和をめざし、「安全で潤いがあり、川に学び、川と遊び、水と自然が豊かな利根川流域」を形成し、総合的・一体的に河川整備に取り組みます。また、地球温暖化等による降水量の変動や海面上昇等、今後の洪水や水利用に大きな影響を及ぼす恐れがある現象については、その動向の調査・研究を進めていきます。
48	茨城県	9牛久市	また、生活用水の水源である霞ヶ浦、利根川の水質は、生活排水等の増加により悪化しており、当市におきましても周辺市町村や市民との連帯を図り、公共下水道の整備や高度合併浄化槽の推進などによる水質浄化に努めていきたいと考えております。今後も生活用水、農業用水として引き続き利用ができるような利水対策にも配慮した計画の立案を要望いたします。	水質については、本川のみならず支川なども含めた流域全体の社会要因に起因する汚濁負荷を受けるため、流域の関係機関や地域住民などと一体となって水質環境基準の達成と更なる水質の向上を目指すとともに、引き続きモニタリングを行っていきます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
49	茨城県	10つくば市	<p>つくば市からの要望として、つくば市吉沼地内の糠俵樋管から上郷地内の長峰橋までの約3kmにわたる小貝川左岸に堤防がなく河川氾濫時の越水が危惧されます。</p> <p>堤防未整備箇所があるため、堤防を利用したジョギングコースやサイクリングロードとしては連続性がなく利用価値が低い状況にあります。このため是非堤防の築造をお願いいたします。</p> <p>小貝川クリーン大作戦の際に、約3kmの堤防未整備箇所はゴミ拾いが行われなため、流域住民の協力を得ながら行う河川美化運動という点に於いても一貫性がなく、堤防整備が必要と思われます。</p>	<p>小貝川河川整備計画では概ね30年に1回程度発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標としており、流下能力が不足している区間については、河道の流下能力向上対策として、築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を必要な箇所から実施していきます。</p> <p>ご意見を頂きましたつくば市吉沼地内の糠俵樋管から上郷地内の長峰橋までの区間ですが、左岸側は台地となっているため、一部の区間を除いて堤防築造の必要がありません。ただし、一部区間においては、地盤高が堤防の設計水位である計画高水位より僅かに低くなっている箇所がありますので、盛土等により必要な高さを確保し、越水防止を図ります。</p> <p>堤防の整備に当たっては、河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施していきます。</p> <p>また、関係自治体と連携した、周辺施設との連携など、自然との調和を図りつつ、治水への影響や安全管理に配慮し地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、計画的にユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備を実施します。</p>
50	茨城県	10つくば市	<p>小貝川クリーン大作戦等の河川美化運動を強化することにより、堤防や河川敷にゴミを捨てられない環境を作っていくことが必要と思われます。</p>	<p>ボランティア等の地域づくりの活動との連携・支援を積極的に推進し、地域住民や関係機関などと一体となった協働作業による河川美化の整備を推進します。</p> <p>ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、鬼怒川・小貝川流域の自治体、県、国土交通省で組織する鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを実施していますが、不法投棄がなくなるのが現状です。今後もこれらの活動を継続実施するとともに関係自治体とも連携し、より一層の不法投棄防止対策を推進していきます。</p>
51	茨城県	10つくば市	<p>1 円滑な運転操作が図れるよう、樋管の維持補修をお願いします。</p>	<p>水門・樋門や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト縮減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋門等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。許可工作物については、施設管理者に対して適切な指導を行い、河川管理上支障とならないようにします。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
52	茨城県	10つくば市	2 つくば市吉沼地内の小貝川左岸(愛国橋南側)で堤防内管理用道路が閉鎖されている箇所があり、地元からの通行可能な要望もあることから利便性を考慮願います。	堤防の上は、日常の河川巡視や洪水時の水防活動などの河川管理を行うための管理用通路であり、緊急時に河川管理車両等が走行する際に支障とならないように一般車両等の進入を制限するために車両通行止めを設置しています。 また、河川への悪質な不法投棄の防止のため車両の進入を制限している区間もあり、効果をあげているところです。 なお、平常時は、貴重な水と緑のオープンスペースであることから、河川管理に支障の無い範囲で散策等癒しの場として多くの方々に利用されています。 ただし、河川管理用通路は他に生活用道路が確保できない等の事情により場所によっては県道、市道、町道との兼用になっている箇所もあります。
53	茨城県	10つくば市	河川敷に未整備の雑木林があり、その箇所を整備することにより河川敷が拡大し、たこ揚げ大会等地域の事業発展に寄与できると思われれます。	河川管理上支障となる樹木に関しては、環境に配慮して伐採を進めていきます。伐採した樹木に関しては有効利用について検討を行っていきます。 また、河川敷の利用に関しては、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、関係自治体と連携し、周辺施設との連携や川とのふれあいの創出など、必要に応じてユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備を進めていきます。なお、実施に当たっては、自治体等との連携・協力が不可欠であるため、今後ともご協力のほどお願いします。
54	茨城県	10つくば市	つくば市内から霞ヶ浦内に流入する河川は、桜川及び花室川の二河川があります。つくば市は霞ヶ浦に対して、飲料水や農業用水の依存度が高く、利水に関する問題意識は高いと思われれます。	河川整備計画において、水質については、本川のみならず支川等も含めた流域全体の社会要因に起因する汚濁負荷を受けるため、流域の関係機関と一体となって水質環境基準の達成と更なる水質の向上を目指し、水量については、河川整備基本方針で設定された流水の正常な機能を維持するため必要な流量を確保します。
55	茨城県	10つくば市	霞ヶ浦の水環境に関する意見としましては、水質浄化を目途とする水質改善に関することや飲料水や農業用水を供給するための安定した水源としての位置づけに関することがあるかと思います。	常陸川水門により塩害の防除を図るとともに、既設の霞ヶ浦開発施設および実施中の霞ヶ浦導水により、利水の安定化を図ります。
56	茨城県	10つくば市	水質浄化につきましては、昭和40年代半ばから湖内水質は悪化してきましたが、水質改善対策等の取り組みにより、水質は改善傾向となってきました。つくば市といたしましても、霞ヶ浦の水質保全を図るため、流入河川の管理等につきましては、一層留意したいと思います。また、各方面においても、環境基準を下回るための一層の努力が必要かと思われれますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。	水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。 具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
57	茨城県	11鹿嶋市	北浦流域において大雨等により高い水位が長時間続くと、堤防浸水現象が起きて いるため、水位調整の手法(常陸川水門で、上水で水位を調整できるよう施設整備を 図る等)を検討し、整備すること。	整備計画で想定する以上の洪水時における霞ヶ浦の水位を計画高水位以下に抑 制するための水位低下対策を検討します。 また、堤防の浸透に対する詳細点検の結果、対策が必要となった箇所について、 必要に応じて対策を講じます。
58	茨城県	11鹿嶋市	1 水質浄化対策 1)現在進行中の霞ヶ浦導水事業において、北浦に流入する巴川上流の堅倉立坑 から導水することにより、北浦の水質浄化を図る手法を検討すること。	霞ヶ浦及び北浦の河川管理者である国土交通省では、霞ヶ浦と北浦は水質特性が 異なることから、効果的な水質改善策も自ずから異なるものと考えています。このた め、北浦における水質改善については、北浦の特性を踏まえた上で事業効果の検証 や水質汚濁メカニズムの解明等調査検討を行い、水質改善に効果的な対策につい て総合的に検討を進めていく必要があります。したがって、北浦の水質改善策につ いては、今後、関係機関と総合的な検討を進めていく予定です。 また、流域対策の進捗状況と整合を図りつつ、底泥からの溶出負荷を削減するた め、底泥溶出負荷が高い北浦等の水域を対象に底泥溶出対策を実施します。
59	茨城県	11鹿嶋市	2)北浦の低泥からの汚泥負荷溶出の削減を図るため、底泥浚渫事業を実施するこ と。	霞ヶ浦及び北浦の河川管理者である国土交通省では、霞ヶ浦と北浦は水質特性が 異なることから、効果的な水質改善策も自ずから異なるものと考えています。このた め、北浦における水質改善については、北浦の特性を踏まえた上で事業効果の検証 や水質汚濁メカニズムの解明等調査検討を行い、水質改善に効果的な対策につ いて総合的に検討を進めていく必要があります。したがって、北浦の水質改善策につ いては、今後、関係機関と総合的な検討を進めていく予定です。 また、流域対策の進捗状況と整合を図りつつ、底泥からの溶出負荷を削減するた め、底泥溶出負荷が高い北浦等の水域を対象に底泥溶出対策を実施します。
60	茨城県	11鹿嶋市	3)多様な生態系による自然浄化機能の保全回復を図るため、棚木地区及び爪木地 区にヨシ・アサザ等植物群落の養浜を復元し、整備すること。	湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい 地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備 を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリ ングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。
61	茨城県	11鹿嶋市	2 環境整備 北浦河川縁において、地域ニーズを踏まえ、スポーツ・レクリエーション等を楽しめ るよう、賑わいのある親水空間を創出すること。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過 去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用 に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な 学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所につ いては、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる 箇所から選定します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
62	茨城県	12潮来市	<p>霞ヶ浦は、私たちの生活の源であり、産業資源としてのみならず、環境資源、そして環境教育やレクリエーションの場など、様々な利活用が期待できる、関東圏域における、大変貴重な資源であり、河川整備計画を含め、治水・利水・環境のみならず、各部門が協調し、国あるいは県レベルで総合的な整備と利活用の方針並びに行動計画等の策定が必要ではないか。</p> <p>本計画も、このような方針の中で推進がなされれば、「なぜ植生が減ったのか」、「今の環境のどこが問題なのか」、これまでの事業の評価を踏まえ必要な治水、利水、環境対策のレベル、さらには、本計画の推進上最も重要な「維持管理への対応」や「それにかかわる地域住民、関係機関との連携・協働等」の課題が、より明確な実効性を伴ったなかで構築ができると思われる。</p> <p>特に、潮来市は、水郷の象徴たる河川の水質浄化を目的として、全国に先がけ公共下水道整備をはじめとした、水質保全・浄化に取り組んできた。水面が光り輝き、様々な生き物や植物が健やかに育ち、水辺に暮らす人々と水辺を求めて集う人々との交流が生まれ、活気あふれる場所を提供できる川づくりに取り組んでいただきたい。</p> <p>まず、水質の浄化・保全を第一の目標として、そこに関連する実現性の高い施策を地域住民、民間企業との連携・協力・理解を得て、「新整備計画」の推進をお願いしたい。</p>	<p>人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p> <p>また、水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p>
63	茨城県	12潮来市	<p>(1) 霞ヶ浦の流入支川の中で唯一未整備であった前川の排水機場の事業化が決定し、19年度から本体工事の着工が予定されている。永年の懸案が解決され、地元としても、国のご判断に感謝申し上げるとともに、速やかな事業完了を望むものである。</p> <p>また、本事業は、昭和46年に築造された「前川水門」以来の、大規模な治水対策となることから、事業計画に際しては、再び、前川河口部が、水郷潮来の象徴として再生されるべく、関連部分における景観処理を含めたその環境整備を是非とも期待する。</p>	<p>前川では、茨城県の霞ヶ浦圏域整備計画との整合を図りつつ、常陸利根川(北利根川)との合流点において、平成21年度完成に向けて排水機場の整備を行っています。</p> <p>また、湖岸景観の保全・形成については、霞ヶ浦の自然・歴史・文化・生活等の地域特性を踏まえて、沿岸住民および関係行政機関等と連携して、周辺の自然や町並み等と調和した魅力的な湖岸景観の保全、形成を図ります。</p>
64	茨城県	12潮来市	<p>2) 「利根川水系河川整備基本方針」において、「(3) 現況河道計画の概ね尊重」の中で、「被害ポテンシャルの増大に配慮し、現行HWLは上げない」とされているが、治・利水及び植生等水辺環境の保全の観点から、現行水位を維持するだけでなく、極力低く抑えることも検討してほしい。</p>	<p>整備計画で想定する以上の洪水時における霞ヶ浦の水位を計画高水位以下に抑制するための水位低下対策を検討します。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
65	茨城県	12潮来市	<p>水郷と呼ばれながら、そこに生活する住民と河川の距離は年々遠くなっている。治水対策のための堤防によって分断された住民と河川の距離を近づけるために、水質の改善・植生帯の復元など、河川をかけがえのない地域資源として再生していくべきである。</p> <p>また、本市は、水郷という地域資源を最大限に活用したまちづくりを進めている。近年、霞ヶ浦・常陸利根川における、水上スポーツやバスフッシングが盛んに行われており、有用な交流資源として、積極的に育成・活用していく方針である。</p> <p>特に、親水拠点の整備については、今後も積極的な整備を位置づけるとともに、水郷の象徴たる「常陸利根川」については、流下能力の問題もあるが、植生帯の復元や多自然型護岸の整備を検討していただきたい。</p>	<p>霞ヶ浦周辺の自然環境の保全と秩序ある利用の促進を図るため、動植物の生息・生育環境の保全や人と川とのふれあう場など、利用目的に応じたゾーン配置を行い、ゾーン特性に応じた適正な整備および管理を実施します。</p> <p>さらに、人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p> <p>また、湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。</p> <p>整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p>
66	茨城県	12潮来市	<p>特に、河川の環境保全活動は、地域住民・企業・行政が協働して取り組まなければ、成果を期待できない。単なる「川の清掃ボランティア」だけではなく、次世代を育成する環境教育、川との距離を近くする親水イベント等の工夫で、地域の川の環境を守っていく意識改革を、国・県・市も連携しながら実行していかねばならない。</p>	<p>河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。</p> <p>さらに、学校、市民団体、関係機関等と連携し、水辺の楽校を整備するなど、河川を活用した環境教育の支援を行います。また、河川環境教育における指導者、団体間の連携および次世代の人材育成に関係機関等と連携して取り組みます。</p>
67	茨城県	13守谷市	<p>本市を流れている3つの主要河川とその周辺の緑は、環境を支えている自然的な基盤であり、うるおいや安らぎを与える重要なオープンスペースです。このような河川とその緑については、より市民に親しまれるよう、適切な保全と整備をお願いしたい。</p> <p>利根川においては、稲戸井調節池の早期完成を図り、河川空間の保全を図るとともに、河川敷の有効利用として、サイクリングロードや公園等の整備をお願いします。</p> <p>鬼怒川・小貝川においては、自然の地をそのままに釣りや散策など市民の憩いの場となっていますが、自然堤部分の侵食が著しい箇所の改修をお願いしたい。</p>	<p>守谷市周辺の利根川の生態系の基盤となる、瀬・淵、ヨシ原、湿地等の良好な環境の保全・再生を図ります。鬼怒川合流点下流の利根川左岸側にある稲戸井調節池は、周辺にある田中調節池及び菅生調節池と一体となって洪水調節することが目的で、整備にあたってはその自然環境の保全に努めます。サイクリングロードの整備については、地元の要望等を踏まえた上で、沿川市町村等が河川法に基づき、河川管理者に申請し、整備を行っていくものです。また、河岸浸食により、堤防等の安全性が確保されない箇所については、護岸の整備など必要な対策を実施します。</p>
68	茨城県	14筑西市	<p>利根川及びその水系に属する各河川の治水・利水・環境整備事業を流域住民の生命・財産の安全確保と福祉増進の為、以下の事業の早期実現を図って頂きたい。</p> <p>I 安全で美しい国土づくりを実現する社会資本整備重点計画に基づいて、必要な治水事業を重点的に計画化し、地域と一体となった治水事業推進すること。</p>	<p>利根川の河川整備計画は、概ね50年(鬼怒川、小貝川などの支川は概ね30年)に1回の確率で発生する規模の洪水を既設のダム及び建設中のダム等を整備することにより、洪水を調節します。そのため、ハツ場ダム、湯西川ダムなど、これらの事業については、整備計画に位置づけ、自然環境及び河道状況、地元と調整を図りつつ、引き続き事業を推進していく予定です。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
69	茨城県	14筑西市	Ⅱ安全で豊かな国土基盤の形成を図り、活力ある地域づくりに資するため、地域と一体となって治水事業を推進すること	鬼怒川の上流域では、現在、湯西川ダム事業を実施中ですが、上流の整備により下流区間での洪水被害の危険性が増大したり、支川の整備により本川の洪水被害の危険性が増大したりしないよう全体のバランスを図りつつ、段階的に整備していきます。
70	茨城県	14筑西市	Ⅲ水源開発事業を推進すること	水資源の開発及び利用にあたっては、流域での健全な水循環を重視しつつ、地域づくりと一体となった適正な河川環境等の保全に努めます。
71	茨城県	14筑西市	Ⅳ洪水、土砂災害等に対する危機管理体制を確立するため、防災に係る各種情報の収集及び配信体制の整備など水情報国土の構築を図ること。	自然災害に伴う人命等の被害を出来るだけ軽減するため、ハードの施設整備に加え、情報により災害に対する安全性を高める総合的なソフト施策を推進しています。(国土交通省HP、洪水ハザードマップの促進等) また、「水情報国土」については、本データベースを活用されている人達のニーズに合わせて、今後も、引き続き改良を行っていく予定です。
72	茨城県	14筑西市	Ⅴ自然再生などにより河川環境の整備と保全を推進し、地域の実情に応じた河川整備を促進すること。	利根川水系の生態系の基盤となる礫河原、瀬・淵、ヨシ原、湿地、干潟等の良好な動植物の生息・生育・繁殖環境の変化や社会情勢の変化に応じた順応的な環境管理を実施し、必要に応じモニタリング調査を実施するとともに、学識経験者等の意見を聴きながら良好な自然環境の保全・再生を図ります。
73	茨城県	14筑西市	Ⅵ水防関係予算を十分に確保するとともに水防組織の拡大強化を図ること。	近年、地域住民及び自治体の水害に対する意識は低下しています。さらに、近年の高齢化により、災害時要援護者が増加しています。このような状況において、洪水等の災害を防止又は軽減するためには、自助、共助による地域防災力の向上が必要です。このため、自主防災組織の結成等の地域の自主的な取り組みを促すとともに、学校や地域における防災教育を自治体と連携して支援します。
74	茨城県	14筑西市	Ⅶ次に掲げる利根川水系事業を推進すること。 1.利根川、鬼怒川、小貝川、霞ヶ浦等重要河川の整備を図ること。	利根川本川及び江戸川の河川整備計画は、概ね50年(支川は概ね30年)に1回の確率で発生する規模の洪水を既設のダム及び建設中のダム等及び調節池、河川改修等整備することにより、洪水を調節し、安全に流下させる計画です。これらの整備にあたっては、上流の河道整備により、下流区間での洪水被害の危険性が増大したり、支川の河道整備により、本川の洪水被害の危険性が増大したりしないように全体のバランスを図りつつ行います。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
75	茨城県	14筑西市	2.湯西川ダム、利根川上流ダム群再編事業の推進を図ること。	<p>湯西川ダムは、鬼怒川及び利根川下流地域の洪水被害の軽減、既得かんがい用水などの取水等に必要な水量の確保、宇都宮市及び茨城県・千葉県の新規都市用水の確保を目的として、利根川水系湯西川(栃木県日光市)で建設を進めている多目的ダムです。</p> <p>湯西川ダムが完成すると、最大毎秒810m³の洪水調節を行い、利根川水系の上流ダム群とともに、下流部の洪水被害を軽減し、沿川地域の人々の生命・財産を守ります。また、3県(茨城県、栃木県、千葉県)の水需給に応えるため、都市用水として毎秒約2.5m³の供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに限って取水できる、暫定豊水水利権として毎秒約0.8m³(約30%)が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。</p> <p>湯西川ダムの建設にあたっては、周辺の自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策等を実施しています。</p> <p>上記の理由から、河川管理者としては事業を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。</p> <p>今後とも、ダム建設により移転を余儀なくされる住民の方々の生活再建を最優先に進め、地元関係者、関係自治体のご理解とご協力を得ながら、事業の早期完成を目指します。</p> <p>また、利根川上流域の既設6ダムを有効に活用して治水機能の強化を図るとともに、ダム湖岸裸地の少なくする等の環境改善を目的としている利根川上流ダム群再編事業の内容については、計画の具体化に向け、検討を進めます。</p>
76	茨城県	14筑西市	3.霞ヶ浦導水事業の推進を図ること。	<p>現在実施されております「霞ヶ浦導水事業」は、利根川、霞ヶ浦、那珂川の流況を調整することにより、「水質浄化」、「既得用水の安定化・河川環境の保全」、「新規都市用水の確保」を図るもので、引き続き実施していきます。</p>
77	茨城県	14筑西市	4.霞ヶ浦を始めとする河川湖沼の環境整備の促進を図ると共に、水質保全・改善を図ること。	<p>霞ヶ浦では、現在、水質調査を定期的・継続的に実施し、動植物の生息・生育環境や水利用に対する影響等を把握するとともに、「第5期霞ヶ浦湖沼水質保全計画」と連携して、水質改善対策に取り組んでいます。また、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区等について、植生の生育場の整備を実施し、その他、「自然再生事業」についても取り組んでおり、水質改善対策を実施しているところです。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
78	茨城県	14筑西市	鬼怒川は、古来より我々の生活と密接な関わりをもっており、豊かな水は肥沃な台地を育み豊かな恵みを与えるとともに産業文化の発展を担ってきました。このような背景のなかで、流域の人命及び資産を守る鬼怒川の治水整備は、まだまだ遅れている状態です。特に下流部においては、堤防の断面を満足していない区間が多く、近年においても無堤部において浸水被害が発生しています。筑西市内においても、左岸 下川島地内において約1500mに渡り無堤防区間が存在しますので堤防築造をお願いいたします。	鬼怒川では堤防の高さ、巾が不足している箇所があり、特に下流部に集中しています。下流部は上流部に比べ川幅が狭いことや利根川本川の水位の影響を受け、洪水の継続時間が長くなる特徴があります。このため築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を必要な箇所から実施していきます。
79	茨城県	14筑西市	また、戦後復興や高度成長期の砂利採取や上流からの土砂供給の減少、横断工作物および河床材料の影響等により、河床の低下や局所的な深掘れの発生による「低水護岸の抜け上がり」、「橋脚基盤部抜け上がり」による構造物の安全性の低下、老朽化した樋管の機能低下及び周辺堤防を含む安全性の低下が懸念されますのでご配慮をおねがいたします。	鬼怒川の下流部においては河床低下・局所洗掘の傾向がみられるため、堤防の安全性を確保できない恐れがある区間については床止、護岸の整備など必要な対策を実施していくとともに、実施にあたっては、モニタリング等の調査を行うとともに、必要に応じて学識経験者等意見を聴きながら河道の維持等にも配慮し実施します。 水門・樋門や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト削減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋門等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。
80	茨城県	14筑西市	鬼怒川流域にとって、農業用水、生活水の貴重な供給源であり、現在は、上流山間部にある五十里・川俣・川治の3ダムによって洪水の調整と水資源の開発がなされています。筑西市においては、勝瓜頭首工より農業用水の取水をしており、水田地帯で利用されたのち、五行川、大谷川で反復利用され、小貝川に流れております。当市は、県内有数の米処として知られております他、「常陸秋そば」、関城地区を中心とした「梨」、協和地区を中心とした「紅こだますいか」、市内全域での「トマト」「きゅうり」といった農産物は鬼怒川の農業用水のおかげでもあります。しかしながら、近年においても渇水が頻発し、取水制限を実施しているのも事実であります。鬼怒川の維持流量確保のため、五十里、川俣、川治ダム及び鬼怒川上流ダム群連携の運用、並びに湯西川ダムの建設を要望します。	鬼怒川においては、既設の五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、鬼怒川上流ダム群連携施設及び建設中の湯西川ダムにより、佐貫地点において、かんがい期及び非かんがい期の目標流量を定め、これらのダム運用により目標流量を確保します。また、水資源の開発及び利用にあたっては、流域で健全な水循環を重視しつつ、地域づくりと一体となった河川環境等の保全に努めます。
81	茨城県	14筑西市	鬼怒川(川島橋付近)の水質は流域の負荷削減対策の進展により改善し、一般的な指標であるBOD(75%)で見ると、環境基準値(2mg/l)の半分位の数値になっております。	水質については、流域全体の社会要因に起因する汚濁負荷を受けるため、流域の関係機関や地域住民などと一体となって水質環境基準の達成と更なる水質の向上を目指すとともに、引き続きモニタリングを行ってまいります。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
82	茨城県	14筑西市	そういった河川水質の改善等により、天然の鮎や鮭が遡上している状況がありますが、河川横断工作物の下流では河床低下による落差等により魚類の遡上・降下が困難となっている箇所があります。	魚類の遡上、降下の支障となる河川横断構造物等においては、必要に応じ調査及び検討し魚道等の設置、機能改善等に努め、上流から下流までの縦断的な河川の連続性の確保を図ります。なお、取水堰等の占用許可工作物については、施設管理者と調整し、機能調査を行うとともに必要に応じて魚類の遡上・降下環境の改善の調整を図ります。
83	茨城県	14筑西市	また、攪乱頻度の低下により、高水敷の草地化・樹林化が進み砂川原が減少しており、水辺へのアクセスが容易でない区間があります。	自然との調和を図りつつ、ユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備を実施します。
84	茨城県	14筑西市	その他、「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」などの河川美化活動が地域住民との連携のもと、取り組みが進められているが、悪質な不法投棄が後を絶たない状況であります。	河川に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理等の活用を自治体と連携し促進します。ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、鬼怒川・小貝川流域の自治体、県、国土交通省で組織する鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを実施していますが、不法投棄がなくなるのが現状です。今後もこれらの活動を継続実施するとともに関係自治体とも連携し、より一層の不法投棄防止対策を推進していきます。
85	茨城県	14筑西市	こういった、河川環境に配慮した河川整備計画を要望します。	自然環境の保全及び再生については、自然環境の変化や社会情勢の変化に応じて対策を検討し、必要に応じモニタリング調査を実施するとともに、学識経験者等の意見を聴きながら実施します。
86	茨城県	14筑西市	河川は様々な要因、時間スケールで状況が変化する自然公物であり、治水・利水・環境という目的に応じて機能を確保する必要があります。	鬼怒川・小貝川それぞれに応じた維持管理目標を定め、必要な水準を確保するために、具体的な維持管理の内容を位置付けた河川の維持管理に関する計画を策定し、適切な河川管理を行います。さらに、長期間・持続的に河川の変化を把握・分析し、必要な措置を講ずるための合理的な仕組みとして、巡視・点検、維持・補修、評価、公表など一連の行為からなるサイクル型の維持管理の充実を図ります。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
87	茨城県	14筑西市	鬼怒川は、管理延長が長く老朽化した水門・樋管排水機場が多いため、平常時からの巡視・点検等による修繕・更新が課題と思われる。	水門・樋門や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト縮減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋門等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。許可工作物については、施設管理者に対して適切な指導を行い、河川管理上支障とならないようにします。
88	茨城県	14筑西市	また、洪水や地震等の災害時に河川管理者と市町及び関係機関は雨量・水位等の状況を素早く、正確に把握し地域住民に対し、迅速かつ的確な情報の発信をし、被害の拡大を防止することが必要であります。	災害時における河川情報の監視や防災情報の迅速・的確な提供、共有化に努めていきます。
89	茨城県	14筑西市	渇水に対しては、上流ダム群を適切に運用し、下流の流況を改善すると共に、状況に応じて、関係利水者等で構成する渇水対策のための協議会等の開催を要望します。	河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持等を図るため、上流ダム群の統合管理を実施するとともに、河川流量や取水量等を監視します。また、利水者との情報連絡体制を活用して河川流量やダム貯留量等の情報を収集及び提供します。渇水時の対策が必要となった場合は、関係利水者等と構成する「利根川水系渇水対策連絡協議会」及び「鬼怒川水利調整連絡会」を活用し、円滑な調整により渇水被害の軽減に努めます。
90	茨城県	14筑西市	河川環境の把握には、継続的に生物・水質等の河川環境のモニタリングを実施し、水質事故発生時には、関係機関に速やかに通報・連絡して適切に対応することが望まれます。	水質の保全については、定期的な水質調査を継続して実施し、水質状況を把握すると共に、水質情報提供、水質保全に関する広報活動を行う。さらに、水利用及び自然環境、親水活動等への影響を調査し、良好な水質の保全に努めます。動植物の生息及び生育環境の状況を把握するため、定期的に「河川水辺の国勢調査※」を実施し、河川巡視等により河川環境の日常の状況を把握します。有害物質の流入等による水質事故に対しては、河川監視及び沿川住民からの情報収集を行い、事故の状況等を把握し、「関東地方水質汚濁対策連絡協議会」を構成する関係機関に速やかに通報連絡を実施すると共に、関係機関と連携し、迅速・適切な対応により被害の拡大防止に努めます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
91	茨城県	14筑西市	地域連携 下館河川事務所長を座長に国・県の関係機関・流域自治体からなる「鬼怒川・小貝川サミット会議」を中心に「河川コーディネーター」「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」「鬼怒川・小貝川博覧会」「鬼怒川・小貝川助成イベント」等を実施しております。その他、筑西市が河川敷を占用し、地域住民が憩いの場として管理しているものが数多くあります。尚一層のきめ細やかな地域連携の充実が必要であります。	ボランティア等の地域づくりの活動との連携・支援を積極的に推進し、地域住民や関係機関など一体となった協働作業による河川整備を推進します。
92	茨城県	14筑西市	環境教育の支援 学校、市民団体、関係機関等と連携し、河川を活用した環境教育を支援し、市民と協働した河川管理が必要と思われれます。	学校、市民団体、関係機関等と連携し、河川を活用した環境教育のために子どもの水辺サポートセンター等によりさまざまな支援を行います。また、河川環境教育における指導者、団体間等の連携及び次世代の人材教育に取り組みます。
93	茨城県	14筑西市	過去の大水害の記憶を風化させることなく、水害に対する防災意識を持ち続けると共に、身近な水辺として親しみの持てる鬼怒川であることの広報活動が必要と思われる。	川を身近なものとして感じてもらうように、また川についてよく理解していただくように、水害の歴史や防災活動への取り組み等の広報活動を行っていきます。
94	茨城県	14筑西市	昭和61年8月、300mm/24hrを超える記録的大雨により、上流無堤部からの洪水と、2カ所の堤防決壊により、小貝川流域に浸水面積4,300ha、浸水家屋4,500戸の被害を受けました。この大出水を契機として、筑西市におきましては、「河川激甚災害対策特別緊急事業」(河川激特事業S61～H2)「河川災害復旧等関連緊急事業」(復緊急事業H11～H14)「特定構造物改築事業」(H13～)「排水施設設置」(H15)等、数多くの治水事業を実施して頂き、治水安全度が高まり、親しみ、愛される小貝川へ飛躍的な前進が図られました。しかしながら、小貝川は、鬼怒川に比べ水防警報が多く発令されるなど、地域住民が安全・安心して暮らせる河川整備はまだまだ遅れている面もございます。特に以下の施策について推進されますよう要望いたします。 1.小貝川下流部から中流部にかけては、堤防断面の狭小・高さ不足及び漏水の恐れや実績のある箇所も未だ多く、下流部JR常磐線橋梁から黒子橋までの堤防強化対策の促進。	小貝川では堤防の高さ、巾が不足している箇所があり、特に下流部に集中しています。下流部は上流部に比べ川幅が狭いことや利根川本川の水位の影響を受け、洪水の継続時間が長くなる特徴があります。このため築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を必要な箇所から実施していきます。 また、現在の堤防は過去から拡築、補修の繰り返しにより築かれてきたため、材料の品質が均一であるとは限らないため、場所によっては、浸透に対する安全性が低い区間が存在しており、点検結果に基づく対策の必要な区間については、河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施していきます。 なお、堤防の浸透に対する点検は、平成19年3月末で完了しました。結果については、記者発表を行ったほか下館河川事務所のホームページにて公表掲載しています。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
95	茨城県	14筑西市	2.小貝川中下流部には老朽樋管が数多くあり、過去の破堤箇所は樋管周辺に集中していることより、老朽樋管の早期改修。	水門・樋門や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト縮減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋門等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。許可工作物については、施設管理者に対して適切な指導を行い、河川管理上支障とならないようにします。
96	茨城県	14筑西市	小貝川の水利用については、鬼怒川の左岸で取水された水の一部が流れ込み、上流から下流に至るまで農業用水等で繰り返し利用されるほか、下流部では工業用水としても利用されております。しかしながら取水堰下流等において流量が少ない時期・区間があります。近年におても度重なる渇水に見舞われております。特に中上流部では水利用の制限も生じております。小貝川流域内には独自の水資源施設が無いことから、霞ヶ浦用水を通して、霞ヶ浦開発事業による水を小貝川への注水等も期待しております。	小貝川における流水の正常な機能を維持するため必要な流量については、農業用水取水堰の湛水等を考慮し、今後調査・検討します。 小貝川においては、流水の正常な機能を維持するため、河川流量及び取水量、動物の生育生息状況等を把握・検討し必要に応じて対応方策を検討します。
97	茨城県	14筑西市	小貝川(黒子橋付近)の水質は流域負荷削減策の進展により、近年は水質環境基準を満足しております。	水質については、流域全体の社会要因に起因する汚濁負荷を受けるため、流域の関係機関や地域住民などと一体となって水質環境基準の達成と更なる水質の向上を目指すとともに、引き続きモニタリングを行ってまいります。
98	茨城県	14筑西市	小貝川には、多種・多様な動植物が生息・育成しております。しかしながら、生活様式が変化したことにより、河畔林・湿地などの荒廃等が進み、多種多様な動植物の生息・生育の場が減少しております。	小貝川の生態系の基盤となる瀬淵、ヨシ原、湿地、干潟等の良好な動植物の生息・生育環境の保全・再生を図ります。
99	茨城県	14筑西市	その他、魚道が未整備の場所があるため、魚類の遡上・降下が阻害される場所・時期があります。	魚類の遡上、降下の支障となる河川横断構造物等においては、必要に応じ調査及び検討し魚道等の設置、機能改善等に努め、上流から下流までの縦断的な河川の連続性の確保を図ります。なお、取水堰等の占用許可工作物については、施設管理者と調整し、機能調査を行うとともに必要に応じて魚類の遡上・降下環境の改善の調整を図ります。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
100	茨城県	14筑西市	小貝川沿いではネイチャーセンターや桜並木などが整備され、環境学習の場や多彩なレクリエーションの場、人と自然のふれあいの場として活用されております。筑西市におきましても、昭和61年の大水害を契機とした「河川激甚災害対策緊急事業」により生まれた、母子島遊水地内の集落跡地及び小貝川・大谷川河川敷等を利用し、治水等に関する普及啓蒙、環境の保全及びレクリエーション等に資する水辺空間整備について要望いたします。	誰もが安心してふれあえる場として、環境学習や自然体験の場となるとともに、川の危険や防災について学ぶことができる「水辺の楽校」等の整備を推進します。
101	茨城県	14筑西市	「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」などの河川美化活動が地域住民との連携のもと、取り組みがすすめられているが、悪質な不法投棄が後を絶たない状況であります。	ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、鬼怒川・小貝川流域の自治体、県、国土交通省で組織する鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを実施していますが、不法投棄がなくなるのが現状です。今後もこれらの活動を継続実施するとともに関係自治体とも連携し、より一層の不法投棄防止対策を推進していきます。
102	茨城県	14筑西市	こういった、河川環境に配慮した河川整備計画を要望します。	自然環境の保全及び再生については、自然環境の変化や社会情勢の変化に応じて対策を検討し、必要に応じモニタリング調査を実施するとともに、学識経験者等の意見を聴きながら実施します。
103	茨城県	14筑西市	河川は様々な要因、時間スケールで状況が変化する自然公物であり、治水・利水・環境という目的に応じて機能を確保する必要があります。	鬼怒川・小貝川各々に応じた維持管理目標を定め、必要な水準を確保するために、具体的な維持管理の内容を位置付けた河川の維持管理に関する計画を策定し、適切な河川管理を行います。さらに、長期間・持続的に河川の変化を把握・分析し、必要な措置を講じるための合理的な仕組みとして、巡視・点検、維持・補修、評価、公表など一連の行為からなるサイクル型の維持管理の充実を図ります。
104	茨城県	14筑西市	小貝川は、管理延長が長く老朽化した水門・樋管・排水機場が多いため、平常時から巡視・点検等による修繕・更新が課題と思われれます。	水門・樋管や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト削減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋管等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
105	茨城県	14筑西市	また、洪水や地震等の災害時に河川管理者と市町及び関係機関は雨量・水位等の状況を素早く正確に把握し地域住民に対し、迅速かつ的確な情報の発信をし、被害の拡大を防止することが必要であります。	災害時における河川情報の監視や防災情報の迅速・的確な提供、共有化を図ります。
106	茨城県	14筑西市	渇水に対しては、状況に応じて、関係利水者等で構成する渇水対策のための協議会等の開催を要望します。	河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持等を図るため、上流ダム群の統合管理を実施するとともに、河川流量や取水量等を監視します。また、利水者との情報連絡体制を活用して河川流量やダム貯留量等の情報を収集及び提供します。渇水時の対策が必要となった場合は、関係利水者等と構成する「利根川水系渇水対策連絡協議会」及び「鬼怒川水利調整連絡会」を活用し、円滑な調整により渇水被害の軽減に努めます。
107	茨城県	14筑西市	河川環境の把握には、継続的に生物・水質等の河川環境のモニタリングを実施し、水質事故発生時には、関係機関に速やかに通報・連絡して適切に対応することが望まれます。	水質の保全については、定期的な水質調査を継続して実施し、水質状況を把握すると共に、水質情報提供、水質保全に関する広報活動を行う。さらに、水利用及び自然環境、親水活動等への影響を調査し、良好な水質の保全に努めます。動植物の生息及び生育環境の状況を把握するため、定期的に「河川水辺の国勢調査※」を実施し、河川巡視等により河川環境の日常の状況を把握します。有害物質の流入等による水質事故に対しては、河川監視および沿川住民からの情報収集を行い、事故の状況等を把握し、「関東地方水質汚濁対策連絡協議会」を構成する関係機関に速やかに通報連絡を実施するとともに、関係機関と連携し、迅速・適切な対応により被害の拡大防止に努めます。
108	茨城県	14筑西市	下館河川事務所長を座長に国・県の関係機関・流域自治体からなる「鬼怒川・小貝川サミット会議」を中心に「河川コーディネーター」「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」「鬼怒川・小貝川博覧会」「鬼怒川・小貝川助成イベント」等実施しております。その他、筑西市が河川敷を占用し、地域住民が、憩いの場として管理しているものが数多くあります。尚一層、きめ細やかな地域連携の充実が必要と思われれます。	ボランティア等の地域づくりの活動との連携・支援を積極的に推進し、地域住民や関係機関などと一体となった協働作業による河川整備を推進します。
109	茨城県	14筑西市	[環境教育の支援] 学校、市民団体、関係機関等と連携し、河川を活用した環境教育を支援し市民と協働した河川管理が必要と思われれます。	学校、市民団体、関係機関等と連携し、河川を活用した環境教育のために子どもの水辺サポートセンター等によりさまざまな支援を行います。また、河川環境教育における指導者、団体間等の連携及び次世代の人材教育に取り組みます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
110	茨城県	15稲敷市	<p>河川環境の評価と川づくりの目標の明確化</p> <p>それぞれの河川の自然環境を理解し、良好な環境が残っているところ、悪化しているところは、どこなのか調査を行うことにより、それぞれの河川環境を評価し地域の歴史、文化が育まれるような、目指すべき目標を定めて川づくりを推進することが必要であると思われる。護岸工事等、河川の改修を行う場合、石等の自然の素材を使用したり、植生の回復に配慮すれば良いという事だけでなく、工事や維持管理の目的を明確にして各分野からの専門家からの適切なアドバイスが受けられるような仕組みを整備することが望まれる。</p>	<p>私達が将来にわたって霞ヶ関と持続的に関わっていくためには、私達の営みと霞ヶ浦との調和がかかせません。霞ヶ浦の豊かな恵みとともに安らかな生活を享受し、また、これからも営々と霞ヶ浦と共生していくためには、霞ヶ浦の魅力を再生することが必要です。ここに基本理念「安らかさと豊かさを実感できる霞ヶ浦」を掲げ、流域全体としてこれを共有し、流域の多様な主体との幅広い連携を講じながら、行動します。基本理念に基づき、次の3つの視点によるあるべき姿を霞ヶ浦河川整備計画の柱とします。</p> <p>●安らかな湖 ●清らかな湖 ●豊かな湖</p> <p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p>
111	茨城県	15稲敷市	<p>自然資源活用イベント等への取組み</p> <p>治水、利水の整備はもちろんのこと、現在取り組まれている河川ウォーキングや河川湖沼等の自然環境の再認識・保全啓発等を含めた活動、イベント等への積極的な関与・開催、及び自治体等における開催に対する一層の支援強化等の取組みが必要と思われる。</p>	<p>学校、市民団体、関係機関等と連携し、水辺の楽校を整備するなど、河川を活用した環境教育の支援を行います。</p> <p>また、河川環境教育における指導者、団体間の連携および次世代の人材育成に関係機関等と連携して取り組みます。</p>
112	茨城県	15稲敷市	<p>河川の多自然型護岸整備の推進</p> <p>昭和45年に事業着手された霞ヶ浦開発事業による湖岸堤工事や流入河川への水門の建設、機場の建設などの治水整備により霞ヶ浦周辺での安全な暮らしが確保されつつあることが実感できる。また、コジュリンなど霞ヶ浦周辺を生息地としている鳥類など自然環境へ配慮した環境対策も実施されている。しかし、昨今の地球温暖化による影響からか異常気象による大雨や農業用排水機場の高性能排水などにより、流入河川の水位が急激に上昇し、湖周辺集落等への逆流に脅かされること度々見受けられる。このようなことから、流入河川における適正な治水対策や水位管理について今後一層推進されることを望む。</p>	<p>霞ヶ浦導水事業は、霞ヶ浦と桜川等の水質浄化、那珂川と利根川へ既得用水等の補給、茨城県等の新規都市用水の確保を目的として、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連絡する流況調整河川(流況の異なる2つ以上の河川を水路で結び、相互の導水を行い、それぞれの河川の流況を改善する施設。)を建設するものです。</p> <p>霞ヶ浦導水が完成すると、那珂川から最大毎秒15m³、利根川から最大毎秒25m³を霞ヶ浦に導水することにより、流域対策、湖内対策などと相まって、霞ヶ浦の水質浄化を図ります。更に那珂川からの導水量のうち最大毎秒3m³を桜川に導水することで水質浄化を図り、干波湖の水質浄化にも寄与します。</p> <p>また、那珂川の渇水時には、利根川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒11m³を、利根川の渇水時には、那珂川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒25m³を導水することにより、渇水による被害を軽減させ、川の環境を守ります。</p> <p>更に、1都3県(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都)の水需給に応えるため、都市用水として最大約9m³/sを供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに取水できる暫定豊水水利権として毎秒約3m³(約30%)が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。</p> <p>霞ヶ浦導水の建設にあたっては、周辺の自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策等を実施しています。</p> <p>上記の理由から、河川管理者としては事業を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。</p> <p>今後とも、地元関係者、関係自治体のご理解とご協力を得ながら、早期完成を目指します。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
113	茨城県	15稲敷市	霞ヶ浦は、稲敷市内に長い水際線を有する湖として、市民にとって非常になじみの深い水辺空間となっている。しかし、昭和40年代半ば頃から水質の悪化が進行し、周辺の水環境に深刻な影響を及ぼしている。各種水質改善対策により、水質は改善傾向となったものの、近年は横ばいで環境基準を大きく超過しているのが現状である。茨城県が実施している霞ヶ浦に関する世論調査において、『子供でも水辺に近づけるようなアクセス路を設置してほしい』など親水利用に関する意見が多く寄せられている。稲敷市としても水辺で直接水と触れ合うことで水の大切さを知り、水環境に対する意識の向上を図ることが水質改善の基盤となるとともに、子育てなど健全な環境整備にも繋がると考え、下水道整備等の水質浄化に向けた取り組みはもとより、親しみのある水辺づくりを目指して和田岬周辺や小野川桜づつみ等の親水公園をはじめ、水辺を活かした環境整備を積極的に進めている。国においても、水質浄化対策のさらなる推進と子供や高齢者ならびに障害者でも安全かつ気軽に水辺に親しめるような施設及び環境の整備を進めていただきたい。	水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。 具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。 また、人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
114	茨城県	15稲敷市	環境学習の充実 河川環境の保全のためには、家庭や地域でできる浄化活動の実践するための意識をもつことが必要である。そのため、環境学習の機会を充実させることにより、霞ヶ浦の現状について認識と水環境にやさしくしようという意識の高揚を図り、日常生活でも水質浄化に向けた取り組みを行うことが重要である。	水質への地域住民の関心を高めるため、分かりやすい指標を用いた水質調査および水生生物を指標とした水質調査を、子どもたちの環境学習の一環として、学校等と連携して実施します。
115	茨城県	15稲敷市	不法投棄防止対策 不法投棄防止対策として、不法投棄禁止の看板設置、パトロール等対策を行っていると思いますが、稲敷市においては、不法投棄多発地域に監視カメラを設置し効果をあげております。費用がかかることではありますが、その対策の一案として検討いただくことを願う。	河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。
116	茨城県	15稲敷市	本市としては、市内の霞ヶ浦沿岸堤防で管理用道路になっている部分を市道認定しておりますので、今後国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所と暫定協定を締結したい。つきましては、霞ヶ浦河川事務所の事業計画の中で、管理用道路になっている部分の舗装整備を要望いたしますので、河川整備計画の中で霞ヶ浦沿岸堤防の管理用道路の舗装整備推進を願いたい。	堤防天端については、河川利用者や近隣住民からの防塵対策の要望を踏まえるとともに、緊急船着き場や緊急用資機材の備蓄地へのアクセス道、緊急用道路として利用できるよう整備を行います。 また、関係市町村には、道路認定をして頂き、兼用協定の締結をお願いいたします。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
117	茨城県	15稲敷市	<p>湖岸周辺域の住民協力による清掃活動やNPO法人等が取り組むアサザ復活プロジェクトなどの活動への支援協力や、学校教育中の活動での積極的な参加取組みの拡大や、妙技の鼻などの貴重な湿原保全のための、野鳥や動植物保護への取組み強化と関係団体の設立、育成等への働きかけが今後必要な連携・協働活動になっていくと思われる。</p> <p>霞ヶ浦の水質浄化は、稲敷市においても大きな課題であり、霞ヶ浦清掃大作戦等の全世帯を対象とした事業を行っておりますが、今後も行政と地域住民が連携し取り組んでいきたいと思う。霞ヶ浦の水質が「水遊びができるくらい」の水質改善を多くの市民が要望しておりますが、浄化対策の効果が上がっていないのが実情であります。汚濁原因の主なものは、一般家庭からの生活排水が原因と言われていることから婦人団体、環境団体等の協力を得ながら水質浄化のための様々な啓発活動が行われてきました。今後もこれらの団体の協力を得て啓発活動を行い、また水質保全事業である下水道、農業集落排水施設、合併浄化槽は、生活排水処理を推進するための効果的な対策でありますので、国、県、市町村が連携しながら効果的な事業の促進を図ることが必要であると考えます。</p>	<p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p> <p>さらに、水質への地域住民の関心を高めるため、分かりやすい指標を用いた水質調査および水生生物を指標とした水質調査を、子どもたちの環境学習の一環として、学校等と連携して実施します。</p>
118	茨城県	15稲敷市	<p>工事完了後供用開始がされていない、霞ヶ浦導水事業の早期供用開始を要望する。</p>	<p>霞ヶ浦導水事業は、霞ヶ浦と桜川等の水質浄化、那珂川と利根川へ既得用水等の補給、茨城県等の新規都市用水の確保を目的として、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連絡する流況調整河川(流況の異なる2つ以上の河川を水路で結び、相互の導水を行い、それぞれの河川の流況を改善する施設。)を建設するものです。</p> <p>霞ヶ浦導水が完成すると、那珂川から最大毎秒15m³、利根川から最大毎秒25m³を霞ヶ浦に導水することにより、流域対策、湖内対策などと相まって、霞ヶ浦の水質浄化を図ります。更に那珂川からの導水量のうち最大毎秒3m³を桜川に導水することで水質浄化を図り、千波湖の水質浄化にも寄与します。</p> <p>また、那珂川の渇水時には、利根川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒11m³を、利根川の渇水時には、那珂川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒25m³を導水することにより、渇水による被害を軽減させ、川の環境を守ります。</p> <p>更に、1都3県(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都)の水需給に応えるため、都市用水として最大約9m³/sを供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに取水できる暫定豊水水利権として毎秒約3m³(約30%)が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。</p> <p>霞ヶ浦導水の建設にあたっては、周辺の自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策等を実施しています。</p> <p>上記の理由から、河川管理者としては事業を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。</p> <p>今後とも、地元関係者、関係自治体のご理解とご協力を得ながら、早期完成を目指します。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
119	茨城県	16かすみがうら市	・湖岸線全線にわたり、波浪対策として護岸、消波堤の整備が必要です。特に、田伏地先の沈下箇所については継続的な監視と対策をお願いします。	霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水（概ね30年に一度発生する規模の洪水）のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。 波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。 また、堤防や常陸川水門等の河川管理施設については、洪水等に対して必要な治水機能が発揮されるよう、平常時から巡視・点検等を行い、適正な管理に努めるとともに計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。
120	茨城県	16かすみがうら市	・霞ヶ浦の水位上昇により排水が困難となり、一の瀬川で冠水が発生しています。築堤、浚渫など内水対策をお願いします。	流入する支川の排水対策として、浸水被害の状況、土地利用の状況および支川の整備状況を考慮し、必要に応じて対策を実施します。 なお、支川の一ノ瀬川に関しては、管理者である茨城県に伝えます。
121	茨城県	16かすみがうら市	・農地や農業水路等が、治水対策の役割も担っている現状があります。堤脚水路とは密接な関係にあることから、きめ細かな管理とあわせて、水路の改修や、特に必要と認められる場所へは、排水設備の整備を含めた検討をお願いします。	堤防や常陸川水門等の河川管理施設については、洪水等に対して必要な治水機能が発揮されるよう、平常時から巡視・点検等を行い、適正な管理に努めるとともに計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。 また、許可工作物については、河川管理上の支障とならないよう履行検査等により監視し、施設管理者に対して適切な指導を行います。
122	茨城県	16かすみがうら市	・浸水想定区域の避難場所、避難経路の整備について配慮をお願いします。地理的な条件を考慮し、地域の特性に合わせた規模の防災ステーションの検討をお願いします。また、管理用道路や橋梁の整備・改良が必要と思われます。	洪水等の発生時に円滑かつ迅速な避難行動ができるよう、住民に分かりやすい形で自治体が洪水ハザードマップを作成・公表・周知されるよう技術的な支援を行います。 また、必要に応じて水防拠点、車両交換場所を整備します。 堤防天端については、河川利用者や近隣住民からの防塵対策の要望を踏まえるとともに、緊急船着き場や緊急用資機材の備蓄地へのアクセス道、緊急用道路として利用できるよう整備を行います。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
123	茨城県	16かすみがうら市	・水田は、生産基盤であると同時に、農村景観を形成し農業の多面的な機能を担う資源でもあります。引き続き、適切な管理により塩害防止に努めるようお願いします。	常陸川水門により塩害の防除を図るとともに、既設の霞ヶ浦開発施設および実施中の霞ヶ浦導水により、利水の安定化を図ります。 霞ヶ浦の水位は、常陸川水門の操作により霞ヶ浦開発事業の治水・利水の目標を達成するとともに、環境にも配慮した管理を実施します。 管理目標水位は、霞ヶ浦の周辺環境を考慮して、4月から10月中旬まではY.P.+1.1mを中心に管理し、11月中旬から2月末まではかんがい期の水利用に備えるためにY.P.+1.3mを目標に管理することとしています。なお、水利用と湖の水辺環境との共存を模索するため、水位運用試験を実施しています。
124	茨城県	16かすみがうら市	・市では、湖岸地域を水辺交流ゾーンとして位置づけ、環境保全と農業や内水面漁業の振興を図るとともに、歩崎公園を中心とした親水空間の整備やイベント等の充実により市民や来訪者の交流を促進することとしています。また、自然環境との共生による潤いのある居住空間を整備することとしています。これらを目指すうえで、水辺の景観は非常に重要です。魚類の産卵場や稚魚の保護生育場となるほか、水質浄化機能を持つ植生帯の造成や、環境に配慮した護岸、消波堤の整備をお願いします。	湖岸景観の保全・形成については、霞ヶ浦の自然・歴史・文化・生活等の地域特性を踏まえて、沿岸住民および関係行政機関等と連携して、周辺の自然や町並み等と調和した魅力的な湖岸景観の保全、形成を図ります。 湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。 また、具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。 対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。
125	茨城県	16かすみがうら市	・市では、歩崎公園周辺や茨城県霞ヶ浦環境科学センター周辺を、環境保全・交流の拠点と位置づけ、市民と来訪者が、水辺の観光・レクリエーションや環境学習などを通じて活発に交流できるように、各拠点の魅力向上を図るとともに、イベントなどを通じた連携を強化することとしています。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
126	茨城県	16かすみがうら市	・歩崎公園周辺は、主に観光・レクリエーションの拠点として、棧橋の復元など親水性の向上が求められています。砂浜の再生等の推進をお願いします。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
127	茨城県	16かすみがうら市	・茨城県霞ヶ浦環境科学センター周辺は、主に環境学習の拠点として、親水性が非常に重要です。県と連携して、野外フィールドの整備促進をお願いします。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
128	茨城県	16かすみがうら市	・霞ヶ浦の広域ネットワークとして霞ヶ浦自転車道の早期完成が期待されています。引き続き、支援をお願いします。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。 なお、サイクリングロード等の個別事業に関しては、計画主体である茨城県に伝えます。
129	茨城県	16かすみがうら市	・湖内湖浄化施設の親水性を生かし、観光・レクリエーションや、環境学習の機能を持つ多機能な施設とするよう検討をお願いします。	湖内湖浄化施設(ウェットランド)は、支川からの流入負荷量の削減を図るために整備します。 人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
130	茨城県	16かすみがうら市	・農地や農業水路等の良好な保安全管理は、治水対策の役割を果たします。樋門、樋管等の更新に配慮をお願いします。	堤防や常陸川水門等の河川管理施設については、洪水等に対して必要な治水機能が発揮されるよう、平常時から巡視・点検等を行い、適正な管理に努めるとともに計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。許可工作物については、施設管理者に対して適切な指導を行い、河川管理上支障とならないようにします。
131	茨城県	16かすみがうら市	・農家の高齢化などにより、樋門、排水機場等の操作管理について、操作員の確保や、迅速な対応が難しい状況が見受けられます。これらの、自動制御化の推進をお願いします。	樋門などの比較的小規模な施設の操作については、現在、自動制御化の可能性について検討を行っています。また、許可工作物については、河川管理上の支障とならないよう履行検査等により監視し、施設管理者に対して適切な指導を行います。
132	茨城県	16かすみがうら市	・引き続き、適切な除草管理により、環境保全に努めるようお願いします。	堤防および護岸については、亀裂や法崩れ等の異常の早期発見等を目的として、定期的に除草を行います。なお、除草にあたっては、地域住民および自治体等の参画を積極的に推進します。さらに、環境への負荷を低減させるための取り組みとして、刈草のリサイクルを積極的に推進します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
133	茨城県	16かすみがうら市	・ 住民による清掃活動を進めていますが、大型のゴミや大量のゴミなどについては対応が困難な状況にあります。早期の対応に向けて、監視・通報などを含め、連携・協働を進める必要があります。	河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。
134	茨城県	16かすみがうら市	・ 植生帯等の維持管理には、地域の協力が欠かせません。さらなるPRを期待します。親水性の向上等により、地域住民の憩える空間として整備が進めば、里親制度等の協働意識が高まるものと思われれます。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
135	茨城県	17桜川市	本市の整備の課題の一つといたしましては、一級河川桜川改修事業の促進を上げております。大雨の度に道路・橋梁及び農地等の冠水や住宅の浸水が頻発し、住民生活に支障をきたしております。このため、一級河川桜川の早期整備が最優先課題です。市内を南北に流れる「一級河川桜川」は、岩瀬工区、大和工区が桜川の上流に位置することから、未改修区間が多く残っております。今日まで、県では用地買収の済んだ区間については、県単独事業により掘削等局部的な工事に取り組んで頂き所期の成果が達成されているところであります。 しかし、依然として無堤防の区間が長いことから、大雨の度に道路や農地への冠水が頻発し、学童の通学路が遮断されるなど日常生活に不便をきたしております。今後、北関東自動車道が開通するなど通過交通量の増加も見込まれることから、下流の進捗にあわせて、上流部特に大和工区の早期改修に取り組んでいただきたく御意見申しあげます。	一級河川桜川に関する意見については、茨城県に伝えます。
136	茨城県	18神栖市	はじめに利根川沿岸の堤防整備について要望いたします。当市は、利根川河口から18.5kmまでの左岸が長い間無堤地区であったことから、利根川上流域も含めて、当市地域が大雨となると河川の水位が上昇し、利根川沿いの太田、矢田部、別所地区等の無堤地区が、河川からの水の流入により家屋の浸水や道路冠水の被害が発生します。また、堤防整備地区につきましても、河川への排水が悪くなり、内水面の被害が発生します。出水期には、実際に被害にはならなくとも、これらの対応に苦慮しているところでございます。治水に関する意見ということで、無堤部への早期築堤をお願いいたします。中でも、現在、整備中である太田、川尻、矢田部地区の堤防の早期完成と、かもめ大橋から銚子大橋まで続く無堤地区のうち、別所、高野、本郷地区への築堤の優先的な整備をご検討願います。その際築堤事業の実施にあたっては、地域の生活環境等にも配慮を頂き、移転地等地元関係者の意向を尊重する共に自然環境等へも万全の対策を講じられますようお願いするところです。また、出水期における被害軽減についての協力体制の確立につきましてもお願い致します。	河川整備計画原案の目標流量を安全に流下させることのできない区間においては、河道の流下能力向上対策として、河道掘削、築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を順次実施します。その際、地元住民等沿川自治体と十分に調整を図りながら実施していく予定です。 利根川河口堰下流の無堤部については河川整備計画の中で浸水被害等を考慮しながら、順次整備を進めることとしています。利根川の河口部にある導流堤の撤去を検討しており、洪水時の水位低下と合わせて浸水被害の低減を図ります。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
137	茨城県	18神栖市	次に河川環境につきまして要望いたします。水道事業は、良質で安心・安全な飲用水の供給を図ることが使命であり、その水源については茨城県より供給を受けております。茨城県水の水源は「北浦」であることから、利根川・霞ヶ浦に連結しているため、河川の水環境の保全整備をお願いいたします。	霞ヶ浦及び北浦の河川管理者である国土交通省では、霞ヶ浦と北浦は水質特性が異なることから、効果的な水質改善策も自ずから異なるものと考えています。このため、北浦における水質改善については、北浦の特性を踏まえた上で事業効果の検証や水質汚濁メカニズムの解明等調査検討を行い、水質改善に効果的な対策について総合的に検討を進めていく必要があります。したがって、北浦の水質改善策については、今後、関係機関等と総合的な検討を進めていく予定です。
138	茨城県	18神栖市	次に、神栖市矢田部川尻地区の利根川河口周辺拠点地区整備計画について要望いたします。利根川河口周辺拠点地区整備計画につきましては、平成10年度より国土交通省利根川下流河川事務所、千葉県銚子土木事務所及び銚子市とともに、施設整備の基本方針を策定しました。この計画につきましては、国土交通省との調整により堤防整備完了後に事業着手することとなっておりますので、その具現化になお一層のご協力をお願いいたします。	「利根川河口周辺拠点地区整備計画」については、自然環境の保全、空間利用等を考慮して地域のニーズ及び自治体の地域計画を踏まえ、関係自治体と連携し取り組みます。
139	茨城県	18神栖市	河川環境につきまして要望いたします。水道事業は、良質で安心・安全な飲用水の供給を図ることが使命であり、その水源については茨城県より供給を受けております。茨城県水の水源は北浦であることから、利根川・霞ヶ浦に連結しているため、河川の水環境の保全整備をお願いいたします。	水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。 具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。また、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。併せて、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施することを考えています。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。
140	茨城県	18神栖市	常陸川の堤防により息栖地区及び萩原地区等で内水問題が生じております。大雨時には、消防団、及び農家の方々等、市民の協力により揚水ポンプにより被害を阻止している状況です。地球温暖化により降雨量が多い昨今、このような人海戦術に頼ることなく、抜本的対策について、是非ご検討いただきたい。	流入する支川の排水対策として、浸水被害の状況、土地利用の状況および支川の整備状況を考慮し、必要に応じて対策を実施します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
141	茨城県	18神栖市	霞ヶ浦の環境に対する意見でございますが、霞ヶ浦は古来より漁業や農業などに限らない恩恵をもたらし、水道・工業・農業用水の重要な水資源となっております。流域における人口増や生活様式の多様化、産業活動の進展などに伴い、霞ヶ浦の水質は依然改善が進まない状況にあります。近年は、北浦の水質が悪化傾向にあることから、霞ヶ浦に係る環境の保全と持続可能な利用について、より積極的な施策の推進を図っていく必要があります。具体的な水質の保全に資する事業として、下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の整備など生活排水対策を推進するとともに、アオコ対策事業・生態系の保全・回復に有益な植生態や自然護岸など整備の促進をお願いいたします。なお、北浦の浄化については、現在関係市町村等で協議の場を設けるよう検討しておりますので、関係機関のなお一層のご協力をお願いします。	<p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。また、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。併せて、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施することを考えています。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p> <p>また、アオコ発生時には、アオコ除去船による除去を行うとともに、必要に応じて関係県および市町村と協力して除去を実施します。</p> <p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。</p> <p>整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p>
142	茨城県	19行方市	●波浪対策については、重要であるため早期にすべきと考える。	<p>霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。</p> <p>波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。</p> <p>具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。</p> <p>対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。</p>
143	茨城県	19行方市	●治水と環境の両側面から、北浦側への緩傾斜護岸等の整備も必要と考えている。	<p>霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。</p> <p>波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。</p> <p>具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。</p> <p>対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
144	茨城県	19行方市	●大規模底泥浚渫については、北浦側にも必要と考える。	大規模浚渫については、引き続き、霞ヶ浦(西浦)で実施し、早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。 北浦では、流域対策の進捗状況と整合を図りつつ、底泥からの溶出負荷を削減するため、底泥溶出対策を実施します。
145	茨城県	19行方市	●水質改善事業により、具体的にどの程度の水質改善が図れるのか目指数値等を示すべきと考える。	水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。 具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。併せて、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施することを考えています。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。
146	茨城県	20鉾田市	●霞ヶ浦については、住民と行政が一体となった水質保全、浄化対策に取り組んでいるところですが、依然水質の改善が進まない状況にあります。そのため、水質浄化などに効果のある霞ヶ浦導水事業の早期完成をお願いします。	霞ヶ浦導水事業は、霞ヶ浦と桜川等の水質浄化、那珂川と利根川へ既得用水等の補給、茨城県等の新規都市用水の確保を目的として、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連絡する流況調整河川(流況の異なる2つ以上の河川を水路で結び、相互の導水を行い、それぞれの河川の流況を改善する施設。)を建設するものです。 霞ヶ浦導水が完成すると、那珂川から最大毎秒15m ³ 、利根川から最大毎秒25m ³ を霞ヶ浦に導水することにより、流域対策、湖内対策などと相まって、霞ヶ浦の水質浄化を図ります。更に那珂川からの導水量のうち最大毎秒3m ³ を桜川に導水することで水質浄化を図り、干波湖の水質浄化にも寄与します。 また、那珂川の濁水時には、利根川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒11m ³ を、利根川の濁水時には、那珂川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒25m ³ を導水することにより、濁水による被害を軽減させ、川の環境を守ります。 更に、1都3県(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都)の水需給に応えるため、都市用水として最大約9m ³ /sを供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに取水できる暫定豊水水利権として毎秒約3m ³ (約30%)が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。 霞ヶ浦導水の建設にあたっては、周辺の自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策等を実施しています。 上記の理由から、河川管理者としては事業を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。 今後とも、地元関係者、関係自治体のご理解とご協力を得ながら、早期完成を目指します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
147	茨城県	20鉾田市	また、北浦の水質浄化を目的とした、北浦への導水についても具体化について検討願います。	霞ヶ浦及び北浦の河川管理者である国土交通省では、霞ヶ浦と北浦は水質特性が異なることから、効果的な水質改善策も自ずから異なるものと考えています。このため、北浦における水質改善については、北浦の特性を踏まえた上で事業効果の検証や水質汚濁メカニズムの解明等調査検討を行い、水質改善に効果的な対策について総合的に検討を進めていく必要があります。したがって、北浦の水質改善策については、今後、関係機関と総合的な検討を進めていく予定です。
148	茨城県	20鉾田市	●十分な現状把握のうえ治水の見地からの護岸整備をお願いしたい。(高水・低水護岸)	堤防や常陸川水門等の河川管理施設については、洪水等に対して必要な治水機能が発揮されるよう、平常時から巡視・点検等を行い、適正な管理に努めるとともに計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。 なお、具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。 対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。
149	茨城県	20鉾田市	●堤防等構造物の耐震性を向上してほしい。	堤防の地震に対する詳細点検の結果、対策が必要となった箇所について、必要に応じて対策を講じていきます。
150	茨城県	20鉾田市	●内水被害の軽減策の検討をお願いしたい。	流入する支川の排水対策として、浸水被害の状況、土地利用の状況および支川の整備状況を考慮し、必要に応じて対策を実施します。
151	茨城県	20鉾田市	●水田地帯は土地改良が進み、北浦の水を農業用水として利活用していることから、今後も利活用できるよう水の確保を維持していただきたい。	常陸川水門により塩害の防除を図るとともに、既設の霞ヶ浦開発施設および実施中の霞ヶ浦導水により、利水の安定化を図ります。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
152	茨城県	20鉾田市	<p>●北浦の水は飲料水の原水として利用されている大切な資源となります。当市の水道事業においては、水源のほとんどを鹿行広域水道用水供給事業(北浦を原水)より供給を受ける計画となっています。水源の水質悪化は浄化経費の増加につながり、最終的には水道利用者への負担を求めることとなります。今後の河川整備計画につきましては、原水の確保の点から安定した水量と浄化について取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>常陸川水門により塩害の防除を図るとともに、既設の霞ヶ浦開発施設および実施中の霞ヶ浦導水により、利水の安定化を図ります。</p> <p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。併せて、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施することを考えています。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p>
153	茨城県	20鉾田市	<p>●霞ヶ浦・北浦の湖内整備については、住民要望も高いように湖沼の浄化と汚濁の防止が特に必要とされています。湖沼の水質汚濁は、有機物質の流入と窒素、リンなどの流入によるものが主な原因となっていることから、湖沼内では抽水植物帯の計画的な整備と流出水対策地区下流域におけるウエットランドの設置を図り降雨時の汚濁負荷軽減を確立されたい。</p>	<p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。</p> <p>整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p> <p>大規模浚渫については、引き続き霞ヶ浦(西浦)で実施し、早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。</p>
154	茨城県	20鉾田市	<p>また、現在、北浦においては底泥の浚渫対策がおこなわれていないため、荒天時には底泥の巻き上げなどにより、水の変色や悪臭の原因になっていると考えられるので、北浦においても浚渫事業等を取り入れていただきたいと思います。北浦に流入する河川については、全窒素の改善が図れない原因として、生活排水対策、家畜排せつ物対策および農地対策があると考えられるので、流域に係る関係機関、住民、事業者等が一体となった取り組みを行う施策を講じる必要があります。</p>	<p>北浦では、流域対策の進捗状況と整合を図りつつ、底泥からの溶出負荷を削減するため、底泥溶出対策を実施します。</p> <p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。併せて、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施することを考えています。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p>
155	茨城県	20鉾田市	<p>●かつては豊富であった漁獲量が水質汚濁等、さまざまな要因により、減少傾向にあり、漁業資源の維持を図るため、養殖業や稚魚の放流等で補っています。今後は過去のような漁獲量が望めるような環境づくりに向けた整備計画を推進していただきたいと思います。</p>	<p>湖岸の再生にあたっては、治水事業との積極的な連携も図りつつ、抽水植物、浮葉植物の生育基盤整備を行い、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)の活用を図っていきます。</p> <p>さらに、常陸川水門の魚道設置については霞ヶ浦および利根川の水域の連続性を確保し、魚類等の遡上・降下環境を改善するため、平成19年度より魚道整備を行っています。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
156	茨城県	20鉾田市	●整備メニュー概要にある「水防拠点の整備」を鉾田市内に事業計画していただき、周辺環境とあつた整備とともに、通常時には公園として利用できるような事業計画の策定をお願いしたい。	鉾田市内に水防拠点施設の整備を検討しています。
157	茨城県	20鉾田市	●北浦沿岸の樋門や船溜りの老朽化が進み、今後修繕等が必要になってくると考えられるので、洪水対策上も修繕に対する支援を考慮していただきたい	許可工作物については、河川管理上の支障とならないよう履行検査等により監視し、施設管理者に対して適切な指導を行います。
158	茨城県	20鉾田市	●霞ヶ浦、北浦の水質浄化には、地域住民一人ひとりが危機感をもった行動が必要であり、日常生活において水質浄化に向けた積極的な取り組みを自ら実践することが重要である。そのため、関係機関は霞ヶ浦、北浦の負荷軽減となる手法方策を提供し、住民一人ひとりが湖を意識し、自らが行動することで水質の浄化になる必要性を周知する必要がある。また、霞ヶ浦問題協議会主催で行っている霞ヶ浦清掃大作戦は、霞ヶ浦、北浦の現状を知る良い機会であり、合わせて河川などの環境美化の必要性を周知する機会となっているので、今後も沿岸自治体などと連携していただきたい。	霞ヶ浦の水質調査を定期的、継続的に実施し、動植物の生息・生育環境や水利用に対する影響等を把握するとともに、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図り、水質の改善に努めます。 さらに、水質への地域住民の関心を高めるため、分かりやすい指標を用いた水質調査および水生生物を指標とした水質調査を、子どもたちの環境学習の一環として、学校等と連携して実施します。 河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。
159	茨城県	20鉾田市	●現在、北浦上流に下水道の処理場予定地として占有している土地については、処理場の建設が始まるので、今後も各方面で協力をお願いしたい。	霞ヶ浦全体を視野に入れた計画とし、必要に応じて流域の多様な主体との幅広い連携を講じます。 このような流域市町村による水質保全対策は、重要と考えています。
160	茨城県	20鉾田市	●水質浄化 ・近年、北浦ではアオコが発生し、その一部は市街地を流れる河川でも見られるようになり、悪臭を放つなどの被害があります。また、波浪時には低泥の巻き上げによる水の変色も見られます。北浦の水は、鹿行広域水道より飲料水として供給される原水であり、また、周辺の田へは農業用水としても利用されています。そのため北浦の水質浄化として、北浦の底泥の浚渫や河川からの水質悪化物質を浄化するウエットランドの整備を進めていただき、さらに、植生の回復による浄化の方策を計画的に整備していただきたい。	水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。 具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。併せて、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施することを考えています。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。 湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
161	茨城県	20鉾田市	<p>●環境学習と水防拠点</p> <p>・当市には北浦に面する場所に、下水処理場を計画しており、隣接して安塚公園と環境学習施設のエコ・ハウスを整備しています。また、下水処理場の整備計画では、周辺の環境整備を行う計画としています。そのため市の整備計画と併せて、環境学習の場づくりや水防拠点の整備等の事業を行っていただきたい。</p>	<p>人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p> <p>また、水防拠点施設の整備にあたっては、詳細を検討のうえ実施します。</p>
162	茨城県	21つくばみらい市	<p>利根川水系河川整備計画につきましては、日ごろから格別なるご高配を賜り心から厚く御礼申し上げます。近年、各地で異常気象による集中豪雨や大型台風の襲来による大規模な水害、地震等の自然災害が相次いでおり、その一方で、高齢化などの社会的要因に伴う地域防災力の低下、水防体制の脆弱化が進行している状態です。</p> <p>このような度重なる災害や社会的要因を踏まえ、利根川水系近隣地域住民の「安全・安心」の確保が重要な課題となっています。堤防の決壊等河川災害による災害を軽減させ、地域住民が安心できる暮らしを実現し、維持していくためには、災害に強い川づくり、また、各地で水辺プラザ等親水施設の整備が進められていますが今後も、人や自然に優しい川づくりに取り組んでいただきたい。</p>	<p>生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた利根川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣りやスポーツなどの河川利用、環境学習の場などの整備、保全を図ります。</p> <p>具体的には、環境学習や自然体験の場となる「水辺の楽校」、歴史や文化を踏まえた地域の交流拠点となる「水辺プラザ」などの整備を推進します。</p> <p>また、高齢者をはじめとして誰もが安心して親しめるようユニバーサルデザインに配慮するとともに、沿川の自治体が立案する地域計画などとの連携・調整を図り、河川利用に関する多様なニーズを十分反映した河川整備を推進します。</p>
163	茨城県	21つくばみらい市	<p>具体的な鬼怒川の整備内容を示した河川整備計画を策定し、地域と一体となった治水事業の推進を図ることを要望します。また、治水事業に係る国庫補助負担金は、国民の生命財産を守る上で必要不可欠であることに鑑み、その削減により安全・安心な地域社会の構築に支障を及ぼす事のないよう、最大限の配慮をお願いします。</p>	<p>鬼怒川の整備は、河川の歴史・文化や自然特性をふまえ流域の均衡ある発展を目指し、地域と一体となり安全安心で潤いのある川づくりを推進していきます。</p> <p>なお、「河川整備計画」の策定においては、関係住民、関係自治体、学識経験者からなど広く意見聴取を実施することとしています。また、より多くの関係する誰もが意見を述べる事が出来る方法として、インターネットやはがきなどによる意見募集、住民の皆様のご意見を伺う場の開催などをこれからも繰り返すことにしています。</p> <p>また、河川整備基本方針・河川整備計画については、社会経済情勢や、自然環境及び河道状況に基づき作成し、今後これらの状況の変化や新たな知見及び技術の進捗等により、必要に応じて適宜見直しを行います。</p> <p>治水事業の推進に当たっては、自治体等との連携・協力が不可欠であるため、今後ともご協力のほどお願いします。</p>
164	茨城県	21つくばみらい市	<p>当市が位置する鬼怒川下流部では、河床低下と局部洗う掘が著しく、樋管・護岸・堤防等の河川管理施設に与える影響が大きいため河床低下対策や護岸整備の促進を要望します。</p>	<p>河床低下については、戦後復興、高度成長期の砂利採取や上流からの土砂供給の減少などさまざまな要因が考えられます。現在では、河床低下傾向は沈静化しており、安定しています。利根川水系において局所的な浸食、深掘れ等によって「低水護岸の抜け上がり」による河川管理施設の破損から堤防の浸食に至る可能性があり、河道の安定化を図る必要があることから、環境に配慮しながら護岸、水制等の対策を順次実施していくとともに、広く流域の状況の把握に努めます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
165	茨城県	21つくばみらい市	鬼怒川の水は、農業用水、水道用水、工業用水等、多目的、広域的に利用されていることから、水量・水質の現状を踏まえて水利用の安定性を確保できるようお願いします。	鬼怒川においては、既設の五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、鬼怒川上流ダム群連携施設及び建設中の湯西川ダムにより、佐貫地点において、かんがい期及び非かんがい期の目標流量を定め、これらのダム運用により目標流量を確保します。また、水資源の開発及び利用にあたっては、流域で健全な水循環を重視しつつ、地域づくりと一体となった河川環境等の保全に努めます。
166	茨城県	21つくばみらい市	都市化及び高齢化の進展、生活形態の多様化が進む中で、すべての人に優しい河川環境の整備が期待されています。鬼怒川沿川は、田園地帯が広がり、中・下流部では市街化区域に接している区間が比較的多く、病院、学校、社会福祉施設等が点在し公園自然観察施設、運動施設としての活用や多種のイベント等に利用されており、日常的に多様な活動ができる水辺空間が求められています。そこで鬼怒川の沿川の自然、歴史的文化遺産や地域特性を活かした河川環境の整備を進めていただきたい。	川と地域社会の関係の再構築を図るため、川と地域の拠点を結ぶネットワーク化に努めるとともに、河川空間における利用者の利便性の向上や快適な利用のため、施設整備に取り組みます。 整備にあたっては流域の歴史及び文化等に地域特性もふまえて治水と利水、環境及び利用を一体的にとらえ、それぞれ目標の調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、河川整備計画に取り組んでいきます。 実施にあたっては、自治体等との連携・協力が不可欠であるため、今後ともご協力をお願いします。
167	茨城県	21つくばみらい市	また、クリーン大作戦等を行い地域住民と連携を図り河川美化活動等を実施しておりますが、悪質な不法投棄等があるので、さらなる啓蒙活動等の実施をお願いしたい。	河川に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理等の活用を自治体と連携し促進します。 ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、鬼怒川・小貝川流域の自治体、県、国土交通省で組織する鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを実施していますが、不法投棄がなくなるのが現状です。今後もこれらの活動を継続実施するとともに関係自治体とも連携し、より一層の不法投棄防止対策を推進していきます。
168	茨城県	21つくばみらい市	河川の維持管理は、治水、利水、環境を総合的に勘案して行う必要があると思うので、鬼怒川の特性を踏まえつつ、鬼怒川において確保されるべき維持管理を実施していただきたい。	鬼怒川・小貝川各々に応じた維持管理目標を定め、必要な水準を確保するために、具体的な維持管理の内容を位置付けた河川の維持管理に関する計画を策定し、適切な河川管理を行います。さらに、長期間・持続的に河川の変化を把握・分析し、必要な措置を講じるための合理的な仕組みとして、巡視・点検、維持・補修、評価、公表など一連の行為からなるサイクル型の維持管理の充実を図ります。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
169	茨城県	21つくばみらい市	市町村等が実施する水防活動や避難の措置が円滑、確実にいえるよう、市町村等との一層の連携を図っていただくとともに、地域住民、関係機関等との協働により実施している清掃や除草等の活動をさらに推進し、積極的に連携・協働するべきである。	<p>水防資材の備蓄、水防工法の伝承・開発及び水防訓練等を県、市町と協力して実施するとともに、重要水防箇所の周知及び合同巡視等を行うことで、水防体制を維持・強化します。</p> <p>洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、水災による被害の軽減を図るため、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を、浸水想定区域として指定、公表し、関係する市町に通知したところでありますが、今後は、更にきめ細かな浸水情報が提供できるよう調査・検討します。また、大臣管理区間からの氾濫が及ぶすべての市町で、洪水ハザードマップ等が早期に作成・公表されるよう、技術的支援を行うとともに、関係する県及び市町等とからなる「災害情報協議会」により、関係機関との連携をさらに強化していきます。</p> <p>関係機関と協力して実施する水防訓練及び重要水防箇所の周知・合同巡視等を引き続き行うことで、連携の維持・強化していきます。</p> <p>また、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、被害の軽減を図るため、沿川市町が洪水ハザードマップを早期に作成・公表されるよう、技術的支援を行うとともに、関係する県及び市町等とからなる「災害情報協議会」により、関係機関との連携をさらに強化していきます。</p> <p>さらに、防災情報の発信などの対策についても積極的に推進していきます。</p> <p>地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理等の活用を自治体と連携し促進します。</p>
170	茨城県	21つくばみらい市	小貝川下流部においては、つくばエクスプレスが開通し、地域の人口・資産は今後ますます増加している中、地域の人命及び資産を守る治水整備はまだまだ遅れており、小貝川整備の一層の促進を図って頂きたい。 具体的な整備内容を示した小貝川河川整備計画を策定し、地域と一体となった治水事業の強力な推進を要望します。	<p>小貝川の整備は、河川の歴史・文化や自然特性をふまえ流域の均衡ある発展を目指し、地域と一体となり安全安心で潤いのある川づくりを推進していきます。</p> <p>なお、「河川整備計画」の策定においては、関係住民、関係自治体、学識経験者からなど広く意見聴取を実施することとしています。また、より多くの関係する誰もが意見を述べる事が出来る方法として、インターネットやはがきなどによる意見募集、住民の皆様のご意見を伺う場の開催などを複数回繰り返すことにしています。</p> <p>また、河川整備基本方針・河川整備計画については、社会経済情勢や、自然環境及び河道状況に基づき作成し、今後これらの状況の変化や新たな知見及び技術の進捗等により、必要に応じて適宜見直しを行います。</p> <p>なお、治水事業の推進に当たっては、自治体等との連携・協力が不可欠であるため、今後ともご協力のほどお願いします。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
171	茨城県	21つくばみらい市	小貝川下流部から中流部にかけては、堤防断面の狭小・高さ不足及び漏水の恐れや実績のある箇所も未だ多く、下流部JR常磐線橋梁から黒子橋までの堤防強化対策の推進をお願いしたい。	<p>小貝川河川整備計画では概ね30年に1回程度発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標としており、流下能力が不足している区間については、河道の流下能力向上対策として、築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を必要な箇所から実施していきます。</p> <p>また、現在の堤防は過去から拡築、補修の繰り返しにより築かれてきたため、材料の品質が均一であるとは限らないため、場所によっては、浸透に対する安全性が低い区間が存在しており、点検結果に基づく対策の必要な区間につきましては、河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施していきます。</p> <p>堤防の浸透に対する点検は、平成19年3月末で完了しました。結果については、記者発表を行ったほか下館河川事務所のホームページにて公表掲載しています。</p>
172	茨城県	21つくばみらい市	また、小貝川中下流部には老朽樋管も数多くあるため早期の改築もお願いします。	<p>水門・樋門や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト削減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋門等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。許可工作物については、施設管理者に対して適切な指導を行い、河川管理上支障とならないようにします。</p>
173	茨城県	21つくばみらい市	小貝川においては、農業用水等で利用されていることから、水量・水質の現状を踏まえて、水利用の安定性をお願いしたい。	<p>鬼怒川・小貝川とも、度々渇水に見舞われていますが、特に小貝川については、独自のダム施設を持っていないため、水量確保に苦慮している状況であると認識しています。このため、渇水時の対策が必要となった場合には、関係利水者等と構成する「小貝川水利調整連絡会」を開催し、適切な水利用がなされるよう、必要に応じて取水制限等の渇水調整を行い、渇水被害の低減に努めます。</p> <p>また、小貝川における必要な流量については、今後調査検討を行っていきます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
174	茨城県	21つくばみらい市	都市化及び高齢化の進展、生活形態の多様化が進む中で、すべての人に優しい河川環境の整備が期待されています。 小貝川沿川は、多種・多様な動植物が生息・生育しているので、自然観察施設、公園等沿川の自然、歴史的文化遺産や地域特性を活かした河川環境の整備を進めていただきたい。	誰もが安心して川とふれあえる場として、水辺の拠点整備や水辺の楽校等の整備、歴史や文化を踏まえた地域の交流拠点としての整備等を行います。また、川と地域社会の関係の再構築を図るため、川と地域の拠点を結ぶネットワーク化に努めるとともに、河川空間における利用者の利便性の向上や快適な利用のため、施設整備に取り組めます。 整備にあたっては治水と利水、環境及び利用を一体的にとらえ、それぞれ目標の調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、河川整備計画に取り組んでいきます。 実施にあたっては、自治体等との連携・協力が不可欠であるため、今後ともご協力のほどお願い申し上げます。
175	茨城県	21つくばみらい市	河川の維持管理は、治水、利水、環境を総合的に勘案して行う必要があると思うので、小貝川の特徴を踏まえつつ、小貝川において確保されるべき維持管理を実施していただきたい。	鬼怒川・小貝川各々に応じた維持管理目標を定め、必要な水準を確保するために、具体的な維持管理の内容を位置付けた河川の維持管理に関する計画を策定し、適切な河川管理を行います。さらに、長期間・持続的に河川の変化を把握・分析し、必要な措置を講じるための合理的な仕組みとして、巡視・点検、維持・補修、評価、公表など一連の行為からなるサイクル型の維持管理の充実を図ります。
176	茨城県	21つくばみらい市	また、悪質な不法投棄等ゴミ問題にも積極的に取り組んでいただきたい。	河川に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理等の活用を自治体と連携し促進します。 ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、鬼怒川・小貝川流域の自治体、県、国土交通省で組織する鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを実施していますが、不法投棄がなくなるのが現状です。今後もこれらの活動を継続実施するとともに関係自治体とも連携し、より一層の不法投棄防止対策を推進していきます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
177	茨城県	21つくばみらい市	市町村等が実施する水防活動や避難の措置が円滑、確実にできるよう、市町村等との一層の連携を図っていただくとともに、地域住民、関係機関等との協働により実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」等の清掃や除草等の活動をさらに推進し、積極的に連携・協働すべきである。	<p>水防資材の備蓄、水防工法の伝承・開発及び水防訓練等を県、市町と協力して実施するとともに、重要水防箇所の周知及び合同巡視等を行うことで、水防体制を維持・強化します。</p> <p>洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、水災による被害の軽減を図るため、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を、浸水想定区域として指定、公表し、関係する市町に通知したところでありますが、今後は、更にきめ細かな浸水情報が提供できるよう調査・検討します。また、大臣管理区間からの氾濫が及ぶすべての市町で、洪水ハザードマップ等が早期に作成・公表されるよう、技術的支援を行うとともに、関係する県及び市町等とからなる「災害情報協議会」により、関係機関との連携をさらに強化していきます。</p> <p>関係機関と協力して実施する水防訓練及び重要水防箇所の周知・合同巡視等を引き続き行うことで、連携の維持・強化していきます。</p> <p>また、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、被害の軽減を図るため、沿江市町が洪水ハザードマップを早期に作成・公表されるよう、技術的支援を行うとともに、関係する県及び市町等とからなる「災害情報協議会」により、関係機関との連携をさらに強化していきます。</p> <p>さらに、防災情報の発信などの対策についても積極的に推進していきます。</p>
178	茨城県	21つくばみらい市	内水処理の件についても、当つくばみらい市の本田排水樋管改修を行っていただいているところですが、既設の本田排水機場樋管(ポンプ排水)もあることから一体的な排水計画に基づき改修等の実施をお願いします。	<p>水門・樋門や排水機場等の河川管理施設については、洪水等に対して、必要な治水機能が発揮されるよう平常時の巡視や定期的な点検および補修等を行い、適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト削減に努めるため、延命化や改築などについて検討を行い、対策を実施します。延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。また、水門・樋門等の更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。</p> <p>ご意見をいただきました本田排水樋管ですが、当該施設は老朽化が激しく、延命化による機能維持が困難であり、また、地域の治水安全度の向上のため、直上流部に設置されている本田排水機場樋管と統合する計画となり、平成18年度に完成しました。なお、排水量等の計画にあたっては、当該流域内の排水計画と整合を図った計画としています。</p> <p>当該流域内の内水対策については、今後とも適切な役割分担のもと、地域の治水安全度の向上のため、引き続きご協力をお願いします。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
179	茨城県	22小美玉市	河川整備基本方針に即し、かつ公害防止計画が定められている地域の河川においては公害防止計画との調整をはかりながら、河川の総合的な管理を確保できるよう定められております。これらについて河川は降雨量・地形・その他の事情によりしばしば洪水による災害が発生している区域については、災害の発生を防止し、災害を軽減するための必要な措置が望まれます。	霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水（概ね30年に一度発生する規模の洪水）のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。 波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。 具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。 対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。 流入する支川の排水対策として、浸水被害の状況、土地利用の状況および支川の整備状況を考慮し、必要に応じて対策を実施します。
180	茨城県	22小美玉市	小美玉市地域については湖岸堤が既に整備されております。堤防も湖特有の波浪・洪水流による越水や洗堀で破壊されたり、堤防地下を流れる浸透流によって漏水破壊されることも考えられます。堤防の破壊を防ぐため、堤防護岸・法面の補強、洪水流による堤防侵食の防止対策が望まれます。また、コンクリート張りの堤防護岸や川床は治水対策の上で大きな効果を得られますが霞ヶ浦が本来有していた生態系を喪失・劣化させております。そのための自然に近い形で河川整備等の取り組みが望まれます。	整備途上において、施設能力を超える自然の外力が発生した場合でも壊滅的な被害とならないように、河川管理施設の適正な維持管理、操作を行い、治水機能を最大限に発揮させるとともに、関係行政機関と連携して警戒避難体制等を強化します。 加えて、洪水等の発生時に円滑かつ迅速な避難行動ができるよう、住民に分かりやすい形で自治体が洪水ハザードマップを作成・公表・周知されるよう技術的な支援を行います。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
181	茨城県	22小美玉市	霞ヶ浦は上水道や農業用水・工業用水の水源として使われております。その水質は良好とはいえない状況がつづいております。こうした状況の中で、底泥の浚渫事業の促進また霞ヶ浦導水事業の早期完成が望まれます。	<p>霞ヶ浦導水事業は、霞ヶ浦と桜川等の水質浄化、那珂川と利根川へ既得用水等の補給、茨城県等の新規都市用水の確保を目的として、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連絡する流況調整河川(流況の異なる2つ以上の河川を水路で結び、相互の導水を行い、それぞれの河川の流況を改善する施設。)を建設するものです。</p> <p>霞ヶ浦導水が完成すると、那珂川から最大毎秒15m³、利根川から最大毎秒25m³を霞ヶ浦に導水することにより、流域対策、湖内対策などと相まって、霞ヶ浦の水質浄化を図ります。更に那珂川からの導水量のうち最大毎秒3m³を桜川に導水することで水質浄化を図り、千波湖の水質浄化にも寄与します。</p> <p>また、那珂川の濁水時には、利根川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒11m³を、利根川の濁水時には、那珂川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒25m³を導水することにより、濁水による被害を軽減させ、川の環境を守ります。</p> <p>更に、1都3県(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都)の水需給に応えるため、都市用水として最大約9m³/sを供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに取水できる暫定豊水水利権として毎秒約3m³(約30%)が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。</p> <p>霞ヶ浦導水の建設にあたっては、周辺の自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策等を実施しています。</p> <p>上記の理由から、河川管理者としては事業を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。</p> <p>今後とも、地元関係者、関係自治体のご理解とご協力を得ながら、早期完成を目指します。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
182	茨城県	22小美玉市	<p>現在国の霞ヶ浦水質の浄化対策として、小美玉地内では高崎湖岸沖に消波施設が設置されハスやヨシが群生し白然環境の保全と水質浄化に役立っています。さらに園部川河口に、湖内植生浄化施設が完成しています。また、大規模浚渫事業や霞ヶ浦導水事業などの水質浄化対策がすすめられているところです。</p> <p>今後期待する取り組みとしまして、大規模浚渫事業の促進・霞ヶ浦導水事業の早期完成・下水道事業や高度処理浄化槽設置事業による流域対策の充実・自然環境保全及び創出事業の推進などが望まれます。</p> <p>小美玉市としまして、環境保全や水質浄化に対する啓発を住民参加の取り組みにより実施していきたいと考えています。行政と地域や企業が一体となって取り組むとともに、子供たちへの環境教育もあわせて推進してまいりたいと考えています。こういった取り組みに対する支援を期待するとともに、現在、小美玉市下玉里の霞ヶ浦に面した場所に市が所有する敷地約22,000㎡の有効活用として、霞ヶ浦と人がふれあう親水公園的な整備に対する知恵や助成を望むところです。</p>	<p>大規模浚渫については、引き続き霞ヶ浦(西浦)の高浜沖で実施し、早期の完了を図ります。</p> <p>また、現在実施されております「霞ヶ浦導水事業」は、利根川、霞ヶ浦、那珂川の流況を調整することにより、「水質浄化」、「既得用水の安定化・河川環境の保全」、「新規都市用水の確保」を図るもので、早期完成に向けて、引き続き実施していきます。</p> <p>流域対策の進捗状況と整合を図りつつ、底泥からの溶出負荷を削減するため、底泥溶出負荷が高い北浦等の水域を対象に底泥溶出対策を実施します。</p> <p>霞ヶ浦の水質調査を定期的、継続的に実施し、動植物の生息・生育環境や水利用に対する影響等を把握するとともに、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図り、水質の改善に努めます。</p> <p>さらに、水質への地域住民の関心を高めるため、分かりやすい指標を用いた水質調査および水生生物を指標とした水質調査を、子どもたちの環境学習の一環として、学校等と連携して実施します。</p> <p>ソフト対策としては、学校、市民団体、関係機関等と連携し、水辺の楽校を整備するなど、河川を活用した環境教育の支援を行います。</p> <p>また、河川環境教育における指導者、団体間の連携および次世代の人材育成に関係機関等と連携して取り組みます。</p> <p>人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p>
183	茨城県	22小美玉市	<p>小美玉地内において、台風や前線等による洪水時には水位が上昇し強風・波浪等が発生します。それにともない湖岸付近に流入河川から入り込む流木・ゴミ等多く打ち上げられ、湖岸景観の阻害要因ともなっております。地域との連携を図ると共に、引き続き対策について望むところです。</p>	<p>河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。</p>
184	茨城県	22小美玉市	<p>小美玉市としても、クリーン作戦の一環として住民主体によるゴミの除去、河川美化・環境改善を毎年2回、自治体、河川管理者と協働して行っております。ゴミの投棄等をしないマナーの向上啓発や川の魅力の再発見について図っているところであります。環境保全や水質浄化に対する啓発を住民参加の取り組みにより実施していきたいと考えております。</p>	<p>河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。</p> <p>水質への地域住民の関心を高めるため、分かりやすい指標を用いた水質調査および水生生物を指標とした水質調査を、子どもたちの環境学習の一環として、学校等と連携して実施します。</p> <p>学校、市民団体、関係機関等と連携し、水辺の楽校を整備するなど、河川を活用した環境教育の支援を行います。</p> <p>また、河川環境教育における指導者、団体間の連携および次世代の人材育成に関係機関等と連携して取り組みます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
185	茨城県	23美浦村	霞ヶ浦は、依然水質改善が進まない状況にありますが、霞ヶ浦、桜川等の水質浄化及び新規都市用水の確保、既得用水の安定的確保等のために、1984年に工事が着工された霞ヶ浦導水事業の早期完成を図ることが、水質浄化の打開策であると考えます。この事業の更なる促進を要望いたします。	霞ヶ浦導水事業は、霞ヶ浦と桜川等の水質浄化、那珂川と利根川へ既得用水等の補給、茨城県等の新規都市用水の確保を目的として、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連絡する流況調整河川(流況の異なる2つ以上の河川を水路で結び、相互の導水を行い、それぞれの河川の流況を改善する施設。)を建設するものです。霞ヶ浦導水が完成すると、那珂川から最大毎秒15m ³ 、利根川から最大毎秒25m ³ を霞ヶ浦に導水することにより、流域対策、湖内対策などと相まって、霞ヶ浦の水質浄化を図ります。更に那珂川からの導水量のうち最大毎秒3m ³ を桜川に導水することで水質浄化を図り、千波湖の水質浄化にも寄与します。また、那珂川の濁水時には、利根川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒11m ³ を、利根川の濁水時には、那珂川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒25m ³ を導水することにより、濁水による被害を軽減させ、川の環境を守ります。更に、1都3県(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都)の水需給に応えるため、都市用水として最大約9m ³ /sを供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに取水できる暫定豊水水利権として毎秒約3m ³ (約30%)が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。霞ヶ浦導水の建設にあたっては、周辺の自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策等を実施しています。上記の理由から、河川管理者としては事業を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。今後とも、地元関係者、関係自治体のご理解とご協力を得ながら、早期完成を目指します。
186	茨城県	23美浦村	東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡地の一角を洪水や地震等の災害時における水防活動上の備蓄拠点として、今後、国土交通省が整備する計画があると聞いておりますが、この場所は、霞ヶ浦河川事務所土浦出張所と潮来出張所お中間点に位置し西浦の広い範囲をカバー出来ることから、早急な整備をお願いします。また、湖岸スロープの利用者も多いことから、トイレ施設等の設置も併せてご考慮いただきたい。	美浦村内に水防拠点の整備を計画しています。整備にあたっては、詳細を検討のうえ実施します。
187	茨城県	23美浦村	美浦村大山地先湖岸スロープは、鹿島海軍航空隊跡地の一角にあり、戦時中は訓練用の水上機を陸に上げたり、湖上へ押し出すためのスベリとして使用していました。現在は、ジェットスキー、ウインドサーフィン、バス釣りにと、このスロープは欠かせないものとなっており、平日はもとより、土・日曜日には、県内や首都圏各地より、200～300台の車で来訪し、多くの方々に利用されています。今後、堤防の整備を検討する上で、戦争史跡という財産及び親水という観点からスロープの保存、活用もご考慮いただきたい。	水位および波浪状況により堤防の高さが不足している区間については、築堤を行います。なお、形状や構造等については、現地の利用状況、歴史・文化等の側面を考慮し、詳細を検討のうえ実施します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
188	茨城県	23美浦村	湖岸の植生帯が年々減少しております。近年、国土交通省が実施している霞ヶ浦湖岸植生再生事業等により、本村においても自然環境を取り戻した湖岸部分も多く見受けられることから、本事業の積極的な展開を要望します。	湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。
189	茨城県	23美浦村	ゴミの不法投棄については、釣り愛好者、湖上レジャー利用者等のマナーを徹底させる周知が必要と考えます。	河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。 さらに、秩序と安全を確保した河川空間の利用を啓発していきます。
190	茨城県	23美浦村	土浦～潮来方面の霞ヶ浦北岸地区については、サイクリングロード整備が進んでおりますが、霞ヶ浦の観光開発、親水という観点からも、南岸地域においても早急な推進をお願いします。 また、霞ヶ浦の景観形成と一般利用者に対し木陰を提供するという観点からも、桜並木や柳並木を霞ヶ浦護岸堤に数ヶ所整備されることを提案します。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。 なお、サイクリングロード等の個別事業に関しては、計画主体である茨城県に伝えます。
191	茨城県	24阿見町	新たに整備計画を策定するにあたり現計画の前提になっている水利用計画や河川改修計画等が、計画と実態がずれている(整備が遅れている)ので見直しをしていただきたい。	霞ヶ浦河川整備計画の策定にあたり、整備が遅れている事業については費用、整備期間等を考慮し、随時見直しを行っていきます。
192	茨城県	24阿見町	市街地形成に不可欠な雨水対策の処理については、放流先である河川の能力が小さいことから開発区域内で雨水調節池の整備を行うケースが多い。そのため整備に必要なコスト面から事業者負担が大変となっている。従って、開発指導並びに土地利用や整備構想を策定するにあたり霞ヶ浦を含め、流入する河川の整備計画や具体的な時期について示していただきたい。	平成9年の河川法改正に伴い、河川整備の基本となるべき方針に関する事項を定めた「河川整備基本方針」と、今後20～30年間の具体的な河川整備の目標や河川整備の内容を定めた「河川整備計画」を策定します。なお、「河川整備計画(大臣管理区間)」を策定するにあたり、関係住民及び学識経験者等から幅広くご意見を聴きます。 本計画は、現在の社会経済情勢、自然環境および河道状況に基づき作成したものであり、これらの状況の変化や新たな知見および技術の進捗等により、必要に応じて適宜見直しを行います。 なお、流入河川については茨城県の管理であり、茨城県にも、この件について伝えます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
193	茨城県	24阿見町	河川の一部を親水空間とした検討(都市計画マスタープラン都市整備構想の課題)については、公園的利用があることと、自然環境の保全、活用など広く地域住民にPRしていただきたい。また、河川の親水性を高める整備方法について霞ヶ浦湖岸の利活用が考えられる。そのため、全体構想の中で町の公園整備との調整を図っていただきたい。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
194	茨城県	24阿見町	湖岸堤では、阿見町の一部で未施工部分がある。全てが整備され一体としてつながることで治水対策はもちろんのこと、大きな効果があるため早期対策を実施されたい。	水位および波浪状況により堤防の高さが不足している区間については、築堤を行います。なお、形状や構造等については、現地の利用状況、歴史・文化等の側面を考慮し、詳細を検討のうえ実施します。
195	茨城県	24阿見町	都市化の進展により、保水機能が少なくなり流出量が増加することから浸水区域が懸念される。霞ヶ浦を含め河川の具体的な計画が分からないと、総合的な治水対策が図りづらい。	霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。 波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。 堤防については詳細点検を実施し、浸透等の外力に対しても安全なものとなるよう必要に応じて強化します。 流入する支川の排水対策として、浸水被害の状況、土地利用の状況および支川の整備状況を考慮し、必要に応じて対策を実施します。 また、整備途上において、施設能力を超える自然の外力が発生した場合でも壊滅的な被害とならないように、河川管理施設の適正な維持管理、操作を行い、治水機能を最大限に発揮させるとともに、関係行政機関と連携して警戒避難体制等を強化します。
196	茨城県	24阿見町	霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画(第5期)(案)に示されている「泳げる霞ヶ浦」「遊べる河川」を実現するためには、水質の改善だけではなく、河川を親しみやすくする構造にする必要があると考えられる。水際に人々が集まれるよう、親水性を高める工夫をしていただきたい。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
197	茨城県	24阿見町	阿見町において、公園・緑地・平林等の里山に対する制度を活用しながら、緑地保全や管理などを行っていることから、国等においても霞ヶ浦湖岸などで地域協働のうえで活用できると思われる。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
198	茨城県	24阿見町	近年、アオコの大量発生は減少傾向にあるが、霞ヶ浦の富栄養化等により水質は改善されず、悪臭を放つなど周辺環境・景観を悪化させている。流入河川等の水質改善対策も含め、国、県、市町村等で連携し、今後も重点的にアオコ等の対策を行ってほしい。	水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。 具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。併せて、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施することを考えています。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。 また、アオコ発生時には、アオコ除去船による除去を行うとともに、必要に応じて関係県および市町村と協力して除去を実施します。
199	茨城県	24阿見町	地域の理解を得ながら、国・自治体と地域が連携し協働する体制づくりが必要であり、それぞれの立場で努力するべきである。	霞ヶ浦では、多くの市民団体等が多種多様な目的をもって活動しています。河川清掃等の維持管理にあつては、環境・福祉等の様々な分野のNPO団体等と連携し、より細やかな維持管理を図ります。 また、地域住民や利用者等の意見を幅広く聞くため、霞ヶ浦意見交換会および霞ヶ浦ふれあい巡視を継続的に開催します。 霞ヶ浦の流域全体を視野に入れた計画とし、必要に応じて流域の多様な主体との幅広い連携を講じます。
200	茨城県	24阿見町	都市整備に伴う雨水排水対策としての下水道幹線や河川等の都市排水対策は、都市の安全を守る基盤的施設である。従って、これらの施設計画にあつては、下水道河川等の関係機関により計画規模や放流条件等について調整を図り、適正かつ整合性のとれた目標を設定し、事前に調整しておく必要がある。	霞ヶ浦では、多くの市民団体等が多種多様な目的をもって活動しています。河川清掃等の維持管理にあつては、環境・福祉等の様々な分野のNPO団体等と連携し、より細やかな維持管理を図ります。 また、地域住民や利用者等の意見を幅広く聞くため、霞ヶ浦意見交換会および霞ヶ浦ふれあい巡視を継続的に開催します。 霞ヶ浦の流域全体を視野に入れた計画とし、必要に応じて流域の多様な主体との幅広い連携を講じます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
201	茨城県	25河内町	<p>スーパー堤防は、(スーパー堤防と町づくり)によると「計画を超える超過洪水による壊滅的な被害から人口、資産が集中する大都市を未然に守るための事業」とありますが、地方の災害を未然に防止する対策についても同様の整備事業を望みます。当町としては、次の整備事業について取り組んでいただきたく要望いたします。</p> <p>①利根川堤防道路の拡張整備。</p>	<p>高規格堤防(スーパー堤防)は、堤防が万が一決壊した場合、非常に甚大な被害が予想される区間を対象としており、利根川水系においては、利根川(小山川合流点から利根川河口まで)と江戸川(利根川分派から江戸川河口まで)を対象としています。堤防を超えるような洪水が来ても堤防が決壊しないような構造とし、後背地を広くならかな構造とする特徴があります。また、浸透してもこわれぬ、地震に対して強い特徴があります。</p> <p>これらの高規格堤防整備は、まちづくりなどの整備と連携して検討する必要があります。まちづくりには、複数の関係者との調整が必要なため河川管理者としては、一体的な整備が図れるように沿川自治体などと調整を行います。</p>
202	茨城県	25河内町	<p>②国土交通省が把握している脆弱な堤防部分の補強整備。</p>	<p>これまでの堤防整備は、堤防がない区間での築堤、幅や高さが不足している区間での拡幅や嵩上げを優先的に実施してきました。また、堤防は原則として、土でつくられ、過去幾度にもわたって築造・補修され現在に至っているという歴史的経緯を有し、その時々で現地において近傍の土を使用して築造するため構成する材料の品質が不均一であるという性格も有しています。そのため、平成14年度から洪水時の浸透に対する安全性の調査を実施してきました。今後は、堤防の点検結果を踏まえ、堤防の安全性が不足している箇所については、優先順位をつけて積極的に堤防強化を進め、必要に応じた対策を順次実施します。また、質的強化の実施までの間、効果的な水防活動の推進を図るため、堤防詳細点検結果を水防管理団体等と共有化を図ります。</p>
203	茨城県	25河内町	<p>③スーパー堤防を築堤し、河川敷を利用した親水公園等の整備。</p>	<p>高規格堤防(スーパー堤防)は、堤防が万が一決壊した場合、非常に甚大な被害が予想される区間を対象としており、利根川水系においては、利根川(小山川合流点から利根川河口まで)と江戸川(利根川分派から江戸川河口まで)を対象としています。堤防を超えるような洪水が来ても堤防が決壊しないような構造とし、後背地を広くならかな構造とする特徴があります。また、浸透してもこわれぬ、地震に対して強い特徴があります。</p> <p>これらの高規格堤防整備は、まちづくりなどの整備と連携して検討する必要があります。まちづくりには、複数の関係者との調整が必要なため河川管理者としては、一体的な整備が図れるように沿川自治体などと調整を行います。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
204	茨城県	26八千代町	八千代町における直轄河川、鬼怒川につきまして今後も取り組んでほしいことは、老朽化している排水樋管の改築工事であります。順次改築はなされておりますが、まだ未改築の箇所がありますので、要望にもなりますけれど、対応していただけますようお願いいたします。	鬼怒川においては、築後50年を経過した排水樋管が多く残されています。そのため、平常時から巡視・点検等を行い適正な管理に努めるとともに、計画的に修繕を行い、各施設の機能を良好な状態に維持します。また、総合的なコスト縮減に努めるため、延命化が図れる施設については延命化の措置を講ずるとともに、延命化による機能維持が困難である施設については改築手法について検討し、改築を実施します。水門・樋門などの更新・改築時には統廃合の可能性について検討し、可能なものは統廃合します。許可工作物については、施設管理者に対して適切な指導を行い、河川管理上支障とならないようにします。
205	茨城県	26八千代町	河川敷や維持管理につきまして、粗大ごみ等の不法投棄が見られますので、パトロールを強化していただき、適正な除草作業をお願いいたします。八千代町において、堤防のゴミ拾いをおこなっておりますが、草がおい茂って、ゴミが見つけれないということもありました。今後も、美しい水辺環境を維持するため、町民の河川に対する愛護意識の高揚、美化運動の推進を図ってまいりたいと思います。	地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理等の活用を自治体と連携し促進します。 ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、鬼怒川・小貝川流域の自治体、県、国土交通省で組織する鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを実施していますが、不法投棄がなくなるのが現状です。今後もこれらの活動を継続実施するとともに、河川巡視の強化や関係自治体とも連携し、より一層の不法投棄防止対策を推進していきます。
206	茨城県	27五霞町	利根川 ※ 利根川・江戸川の「堤防の重要性」及び治水に対する信頼性を向上させるためにも堤防強化事業の更なる促進を願いたい。	利根川上～中流部及び江戸川の右岸堤防がひとたび決壊すれば、その氾濫は埼玉県東部はおろか東京都東部まで達し、首都圏が壊滅的な被害を受けるおそれがあります。また、近年の出水においても漏水が発生するなど、堤防の安全性は必ずしも十分とは言えない状況です。このため、首都圏氾濫区域の堤防(約70km)について、堤防拡幅による堤防強化対策を実施します。
207	茨城県	27五霞町	※ 五霞町地先の河川敷は樹木が成長し、洪水時における流下の影響や堤防への影響も考えられるが、樹木の伐採を行なう場合は、水辺環境の保全にも配慮していただきたい。	河道を適切に管理していくため、河道形状についてモニタリングを行い、河道形状の把握に努めます。また、河川管理上支障がある河道内の樹木等については、動植物の生息・生育・繁殖環境及び景観などの水辺環境に配慮しながら、必要に応じて伐採などの適切な対策を講じて、洪水の流下の阻害とならないよう管理します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
208	茨城県	27五霞町	※ 五霞町川妻地先から栗橋地先にかけての利根川の右岸は高水敷が狭く、堤防間に深掘れが見受けられるとのことであるが、それらについて対策を実施していただきたい。	五霞町川妻等においては、河床の深掘れ等によって、堤防の安全性を確保できない恐れがあるため、堤防強化対策にあわせて、高水敷の造成等必要な対策を実施する予定です。
209	茨城県	27五霞町	※ 河川環境保全の面から不法投棄等の監視体制の強化も急務であるとおもわれる。	利根川及び江戸川の広大な河川敷は、ゴミなどの不法投棄の対象となりやすく、近年、河川への不法投棄が見られ、行為者・所有者が判明しないものは河川管理者が撤去せざるを得ないケースが生じています。このため、現在、不法投棄の著しい区間は巡視の強化を行っています。また、河川に投棄されるゴミなどを減らすため、地域住民などの参加による河川の美化・清掃活動などを自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民などがボランティアとして継続的に河川美化活動を実施する市民と協働で行う河川環境管理などの活用を自治体と連携し促進します。
210	茨城県	27五霞町	江戸川 ※ 江戸川流頭部にある関宿水閘門(五霞町地内)は、江戸川の流量・水位調節を目的に建設された利根川治水のシンボリック的構造物であり、建築様式もレンガ構造からコンクリート構造物へと歴史的土木構造物として保存願います。	関宿水閘門は、利根川から江戸川に流入する水量を適正に分流調整し、舟運の確保を目的として昭和2年に設置されました。また平成15年11月には土木学会選奨土木遺産に認定され、数少ない現役の大型水門・閘門としての歴史的・文化的価値が認められたものと認識しています。現在、利根川から江戸川の適正な分派のための検討を実施しているところであり、その検討の中で歴史的・文化的価値の観点から皆様の要望・意見を踏まえ関宿水閘門の保存に関しても検討していきます。
211	茨城県	27五霞町	※ 中ノ島公園のコブシは関東地域でも最大級であり流頭部改修に際しては中ノ島公園が引き続き利用できるよう配慮願います。	江戸川分派地点については、分派量を確保するための対策について調査・検討を行い、適正な時期に実施していくこととなりますが、中ノ島公園及び関東地域最大級といわれるコブシのあり方については、地域の利用やご意見に配慮した方策を地元自治体等と一緒に検討していきます。
212	茨城県	27五霞町	※ 江戸川堤防の天端を舗装し、平常時は水閘門・中ノ島公園のアクセス道路及びサイクリングロードとして活用し、非常時には防災ステーションからの資材搬出が行なえる多目的道路を整備計画に位置づけ願います。	山王地区河川防災ステーション周辺の江戸川堤防の天端につきましては既に舗装を実施し、平常時にサイクリングロードとして活用する場合には、河川占用をして頂く必要があります。また、非常時の河川防災ステーションからの資材搬出についての利用には「管理協定」の締結を行っていく必要がありますので、今後調整を行う際にはご協力をお願いします。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
213	茨城県	28利根町	<p>◎利根川及び小貝川の整備について</p> <p>本町は、その名のとおり「利根川」と共に歩んできた水辺の町です。坂東太郎の異名を持つ利根川の歴史は、まさに町の歴史でもあります。その歴史は、江戸時代の利根川の東遷事業に遡ります。</p> <p>利根川の流路を当時の江戸湾から銚子へと替え、江戸を利根川の水害から守り、合わせて農業用の用水路も整備して新田開発を推進し、また米や物資を舟で地方から江戸に、江戸から地方に運ぶ交通・運搬体系の確立を目的として行われたこの東遷事業は、川沿いのまちに住む人々に計り知れない恩恵を与えてくれました。その一つに河岸の存在があります。舟による物資の運搬が整備されると、その荷物の積み下ろし場である河岸が、川沿いの町に多く造られました。その河岸はやがて宿場町を生み、当時の本町も、このような水運の要衝の地として大層な賑わいをみせたと伝えられています。</p> <p>また利根川は、肥沃な水田を潤す源となり、春夏秋冬にはさまざまな表情を見せ、四季折々の景観と相まってまちを美しく彩り、自然の豊かさと美しさを人々に教えてくれました。しかしその一方で、日頃はゆったりと流れる大河も、これまでに幾度となく荒れ狂い、人と水との闘いが延々と続いた時期もありました。そこで先人たちは、「水塚(みづか)」と呼ばれる宅地内の一部を母屋よりも高く盛土し、その上に蔵などを建て、米や味噌、醤油などを備蓄し、水害時の避難場所を造りあげ身を守りました。その水塚は、人と水との共存の知恵を結集した貴重な財産として、現在に受け継がれています。このように、古来より水害から身を守り、水田を守ることが住民共通の願いであり、町の最重要課題にも位置づけられています。</p> <p>そもそも本町は、町の西部で利根川に小貝川が合流し、利根川の布川狭窄部の影響もあって、小貝川に利根川の濁水が逆流し、しばしば大きな被害をもたらしております。その一つに、未だ記憶に残る小貝川の決壊があります。昭和56年8月、関東地方を襲った台風15号によって小貝川高須橋上流の左岸が決壊し、その濁流は本町の約900ヘクタールの田畑を冠水させ、秋の収穫をまじかに迎えた水稻を直撃し、農作物の被害額は、約5億円(当時)と推定されるなど甚大な被害をもたらしました。そのような中、昨年2月に策定された利根川水系の河川整備基本方針による整備計画では、当初、利根町布川上流で計画されていた放水路が、布川下流に変更されたこともあり、これによって布川の計画高水流量が、これまでの計画に比べ増大したことを非常に懸念しております。また、近年は異常とも言える気象変動で、記録的な豪雨や多数の台風が上陸し、国内各地で被害が多発しています。いつ本町にも被害が襲ってくるか不安でなりません。豪雨や台風で利根川が増水するたびに、昭和56年8月の悪夢を思い出し、町民は不安を募らせ、眠れぬ夜が続きます。地元消防団は、昼夜問わず水防警備にあたるなど、その対応に努めております。</p>	<p>利根川及び小貝川の河川整備は、上流の整備により下流区間での洪水被害の危険性が増大したり、支川の整備により本川の洪水被害の危険性が増大したりしないよう全体のバランスを図りつつ、段階的に整備していきます。現在、押付地区高規格堤防整備事業が実施中であり、河川防災ステーションの整備については、今後、関係自治体と調整を図りながら、連携して実施していく予定です。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【茨城県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
			<p>現在国土交通省を始めとする関係機関のご尽力により、本町内で、押付地区高規格堤防整備事業が進められております。これにより、堤防が格段に強化され、これまで長い歴史の中で、水害に悩まされ、そのたびごとに不断の努力を払ってきた本町町民にとっては、大変喜ばしい限りであります。我が国最大の流域面積を持つ利根川流域では、大きな水害が起こるたびにその対策が施され、堤防が強化されてきました。</p> <p>江戸時代、利根川東遷事業から端を発した利根川との関わりの中で、この高規格堤防整備事業は、まさに町の歴史に残る一大事業であり、町民こぞって一日も早い完成を望んでいるところであります。また合わせて、さらなる危機管理体制の強化のためにも、押付地区高規格堤防整備事業地内に「危機管理対応施設」の整備も強く望んでおります。この危機管理対応施設の一つである「防災ステーション」については、利根川右岸側(千葉県側)では、千葉県印旛郡栄町に整備され、千葉県香取市においては整備中とのことでありますが、左岸側(茨城県側)には、まだ整備されておられません。有事の際、利根川両岸沿川地域の危機管理体制の均衡と充実のためにも、茨城県側である本町内に、防災ステーションを設置していただきたく要望いたします。</p> <p>以上ご勘案の上、特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。</p>	
214	茨城県	28利根町	<p>◎利根川桜堤周辺の遊歩道整備について</p> <p>平成16年度に国土交通省のご協力を頂きまして、利根町民が川と緑に親しみ、人とふれあう憩いの場を創設することを目的として、桜の里親を募り利根川の景観を生かした、町のシンボルである桜の木182本、総延長900mにわたり利根川堤防上部に植栽し、好評を得ているところであり、今桜の木の生長を心待ちにしている状況であります。この桜の木の生長とともに多くの住民が堤防に訪れいこいの場となっておりますけれども、もっと身近に川と親しめる空間作りとして堤外部を利用した水辺を散策できる遊歩道等を整備することにより、地域住民、また、子供達が川とふれあえる環境づくりができるものと考えますので、ご一考いただきたくお願いするものであります。</p> <p>◎小貝川水辺ふれあいの場整備について</p> <p>我が町から観る小貝川は、利根川と合流する小貝川の最下流に位置し、戸田井橋周辺及び利根川に沈む夕日を望むすばらしい景勝地であります。この堤外にあります上曾根運動公園から小貝川の水辺に降りる遊歩道また、なだらかな斜面を利用して、小さな子供たちが安全に芝滑りが楽しめ、さらに水辺で遊べる場を整えたいと考えます。</p> <p>前述しました利根川水系での利根川堤防に整備いたしました、桜堤までの水辺を散策できる一体的な整備を図ることで、親子でまた、地域住民誰もが川とふれあえる環境づくりができるものと考えますので提案をさせていただきます。</p>	<p>生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた利根川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣りやスポーツなどの河川利用、環境学習の場などの整備、保全を図ります。</p> <p>具体的には、環境学習や自然体験の場となる「水辺の楽校」、歴史や文化を踏まえた地域の交流拠点となる「水辺プラザ」などの整備を推進します。</p> <p>また、高齢者をはじめとして誰もが安心して親しめるようユニバーサルデザインに配慮するとともに、沿川の自治体が立案する地域計画などとの連携・調整を図り、河川利用に関する多様なニーズを十分反映した河川整備を推進します。</p>